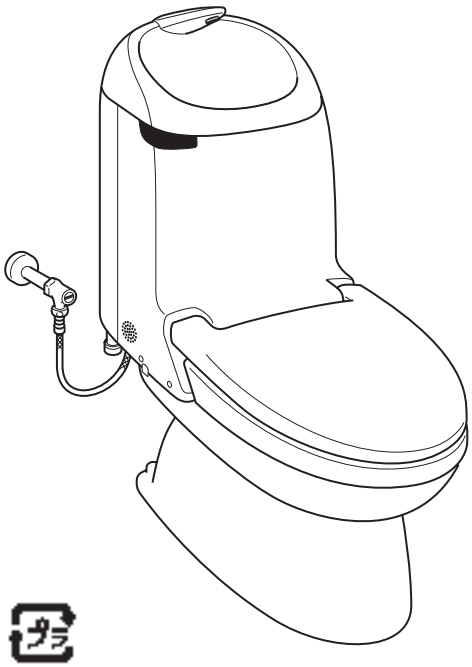
LIXIL
INAX

取替用

保証書別添

シャワートイレ一体型
取替用機能部 MM タイプ

DWT-MM85 型・DWT-MM55 型



プラ
Ⓡ:PE

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、
次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

工事店様へのお願い

貴店名ならびに**取付日を同梱の保証書にご記入の上、お客さ**まへ**お渡しください。**

Shower toilet

取扱説明書

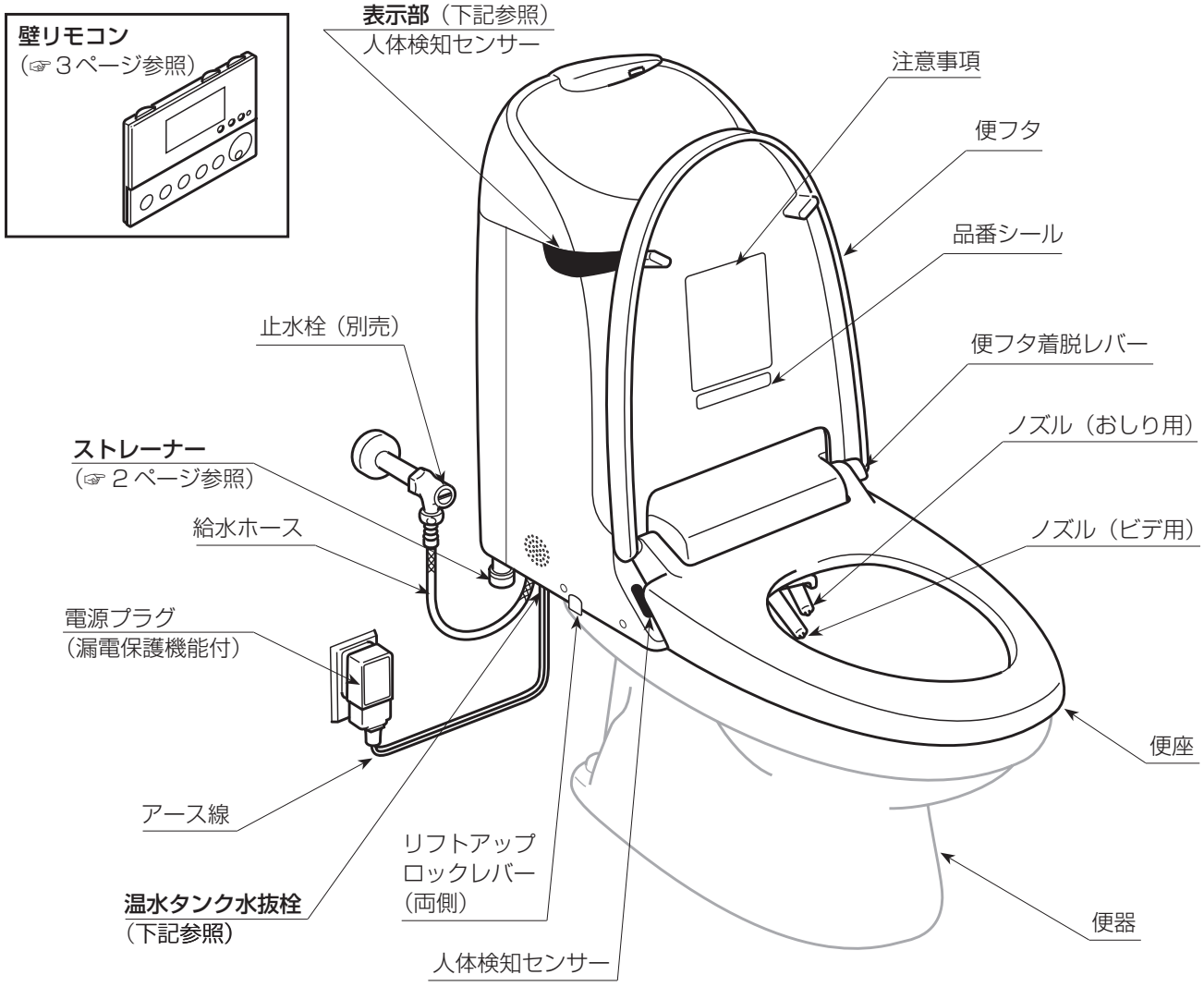
このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ
正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、
大切に保管してください。

もくじ

各部のなまえ …… 1
安全上の注意 …… 5
お使いになる前に確認してください…… 9
ご使用方法
●ご使用前の準備 （電源・便座・温水） …… 11
●基本機能の使いかた （おしり・ビデ洗浄） …… 12
（ワイド洗浄・洗浄位置） … 13
（乾燥） …… 14
（脱臭） …… 15
（スーパーノズルクリーニング） 16
（便器洗浄） …… 17
（節電） …… 19
（フルオート便座） …… 20
（より快適な機能） …… 21
●知っておいていただきたいこと…… 23
お取り扱い上の注意…… 25
お手入れ方法
●日頃のお手入れ …… 27
●便フタを外して掃除します…… 29
●脱臭効果が弱くなった場合…… 30
●本体と便器の間を掃除します…… 31
●ロータンクへの給水時間が長くなりはじめたら 33
●シャワーが弱くなってきたなと思ったら…… 33
●リモコンの電池交換…… 34
●電源プラグの点検…… 35
●定期的な部品交換のお願い…… 35
長期間使用しない場合…… 36
冬期凍結の恐れがある場合…… 37
修理を依頼される前に
●故障かなと思ったら…… 40
安全・安心にお使いいただくために…… 42
アフターサービス …… 45
仕様 …… 47
別売品のご案内 …… 48
重大事故防止のためのお願い…… 49

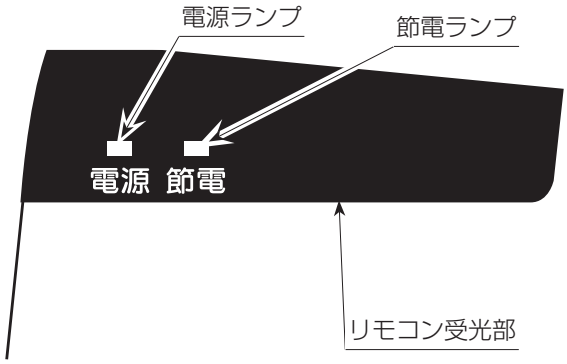
各部のなまえ

■全体図

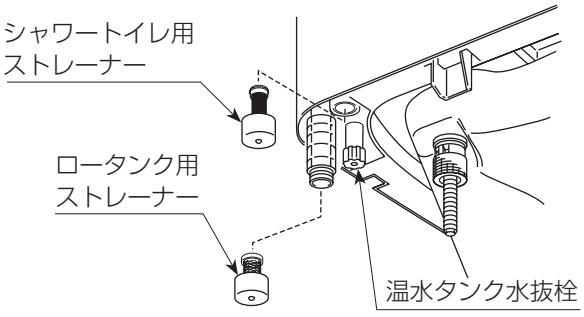


※ 操作は、リモコン操作のみになります。
※ 上図は、手洗付の場合です。
※ 人体検知センサーにより、人が便器に近づいたり、離れたりするのを検知し、便座と便フタを自動で開閉します。

■表示部

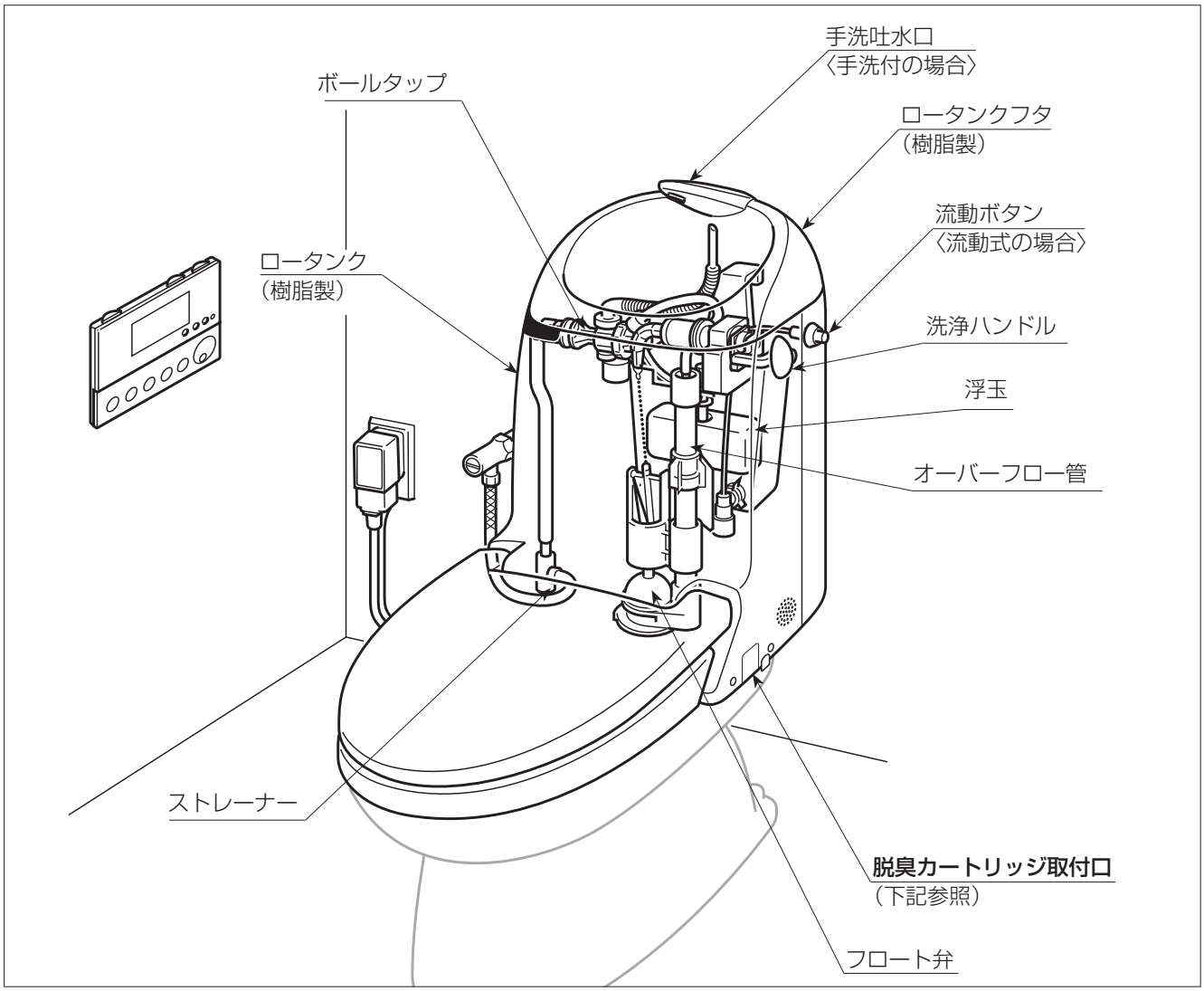


■ストレーナー、温水タンク水抜栓



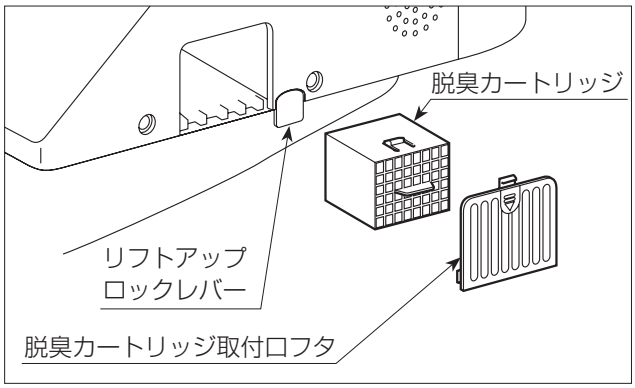
※ ストレーナーは、水道水内の異物を除去します。
温水タンク水抜栓は、温水タンク内の水を抜くときに外します。

■ロータンク内部



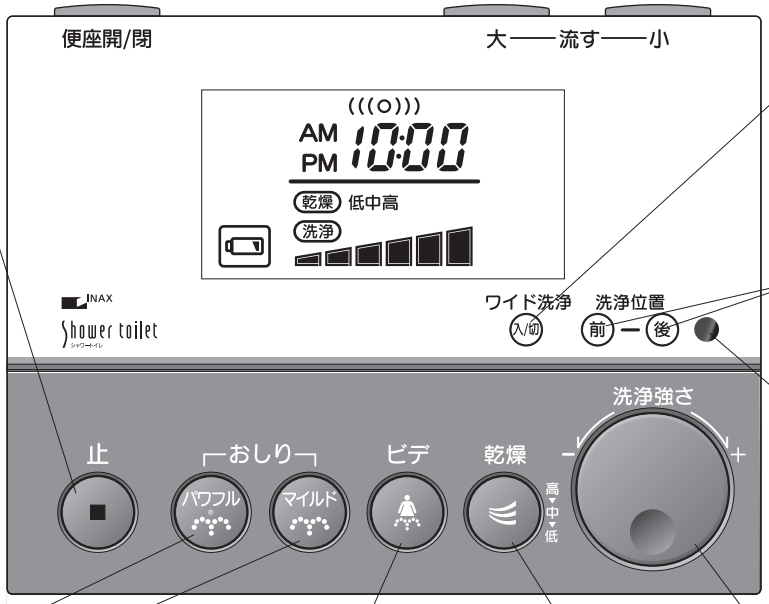
※ 止水栓を閉めすぎると、ロータンクへの給水時間が長くなったり、手洗い水が出ないことがあります。
※ ロータンクへの給水中、便器の中に少しずつ水が流れる場合があります。

■脱臭カートリッジ、リフトアップロックレバー



■リモコン

■操作部



便座開 / 閉
便座を開閉するときに使用します。
(☞ 20 ページ)

流す
便器内洗浄をするときに使用します。
(☞ 17 ページ)

止
●おしり洗浄●ビデ洗浄●乾燥の動作を止めます。

ワイド洗浄
ノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。
(☞ 13 ページ)

洗浄位置
洗浄位置を調節します。(☞ 13 ページ)

送信部
フタを開けます。

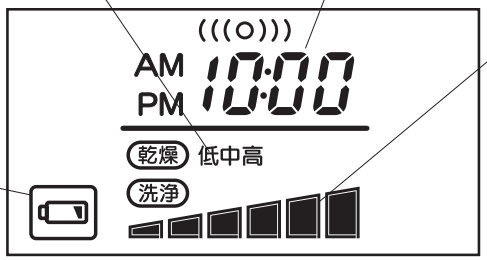
おしり
パワフル
マイルド
おしりを洗うときに使用します。
(☞ 12 ページ)

ビデ
ビデ洗浄のときに使用します。
(☞ 12 ページ)

乾燥
ぬれた部分を乾かすときに使用します。
(☞ 14 ページ)

洗浄強さダイヤル
おしり洗浄、ビデ洗浄の強さを調節します。(☞ 12 ページ)

■液晶表示部



乾燥表示
温風温度を表示します。
(☞ 14 ページ)

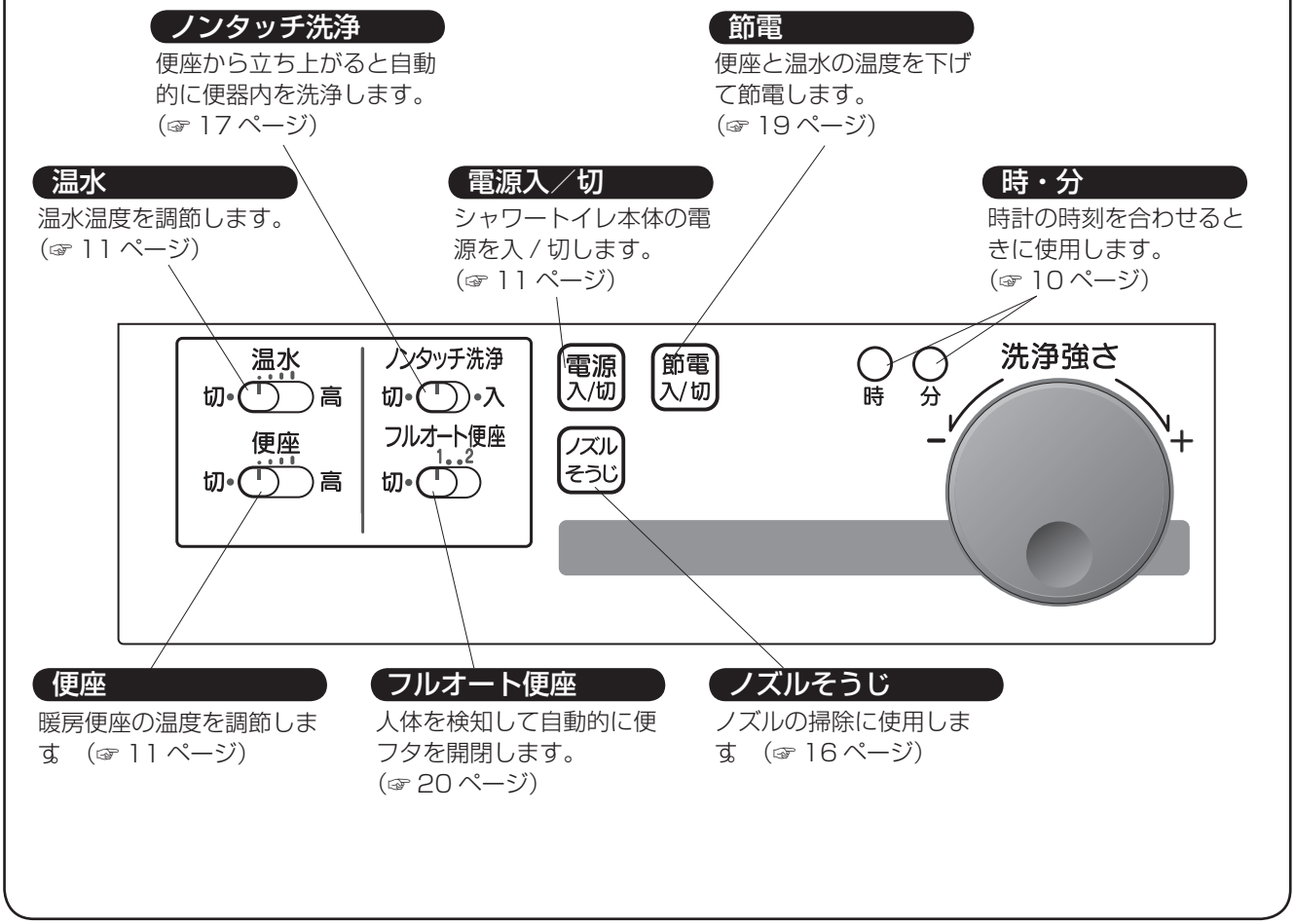
時刻表示
(☞ 10 ページ)

洗浄強さマーク
おしり洗浄、ビデ洗浄の強さを表示します。
(☞ 12 ページ)

電池マーク
電池の寿命が近づくと表示します。(☞ 34 ページ)

※ 上記の図は、すべてを表示した場合の例です。
※ 便器の前に立つと脱臭を始めます。(☞ 15 ページ)
※ リモコンには点字シールが付いています。必要な場合はシール裏面の張付方に従って張り付けてください。

■副操作部


ノンタッチ洗浄
便座から立ち上がると自動的に便器内を洗浄します。
（☞ 17 ページ）
節電
便座と温水の温度を下げて節電します。
（☞ 19 ページ）
温水
温水温度を調節します。
（☞ 11 ページ）
電源入／切
シャワートイレ本体の電源を入 / 切します。
（☞ 11 ページ）
時・分
時計の時刻を合わせるときに使用します。
（☞ 10 ページ）
温水
切
高
便座
切
高
ノンタッチ洗浄
切
入
フルオート便座
1
2
切
電源入/切
節電入/切
ノズルそうじ
時
分
洗浄強さ
−
+
便座
暖房便座の温度を調節します （☞ 11 ページ）
フルオート便座
人体を検知して自動的に便フタを開閉します。
（☞ 20 ページ）
ノズルそうじ
ノズルの掃除に使用します （☞ 16 ページ）

安全上の注意（必ずお守りください。）

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 . . . . この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う恐れが想定される内容を示します。

注意 . . . . この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負うまたは物的損害のみが発生する恐れが想定される内容を示します。

⚠ . . . . この表示は「注意しなさい！」の記号です。（上記の『警告』、『注意』と併記して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

禁止 . . . . この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。

指示実行 . . . . この表示は、必ず実行していただく「指示実行」の記号です。

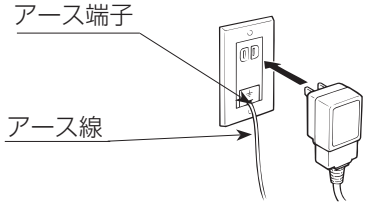
⚠ 警告

●長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。
●次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕
※「切」以外の温度で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

指示実行

確実にアース線をアースターミナルに接続してください。
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

アース接続



バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。
※ 感電・火災の原因になります。

水場使用禁止

修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

分解禁止

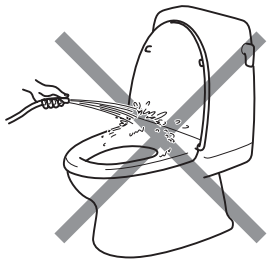
ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しないでください。
※ 感電・火災の原因になります。

禁止

⚠ 警告

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。

水かけ禁止



ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
※ 感電の原因になります。

ぬれ手禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。

禁止

●乾燥を長時間使用するときは、乾燥温度を「低」にしてください。
●次のような方が使用されるときには、周りの方が乾燥温度を「低」にしてください。
〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕
※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドの恐れがあります。

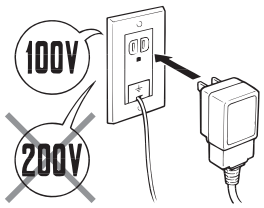
指示実行

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。
（37、38、39 ページ参照）
※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

指示実行

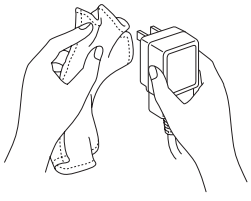
●交流 100V 以外では使用しないでください。
●タコ足配線はしないでください。
※ 火災の原因になります。

禁止



電源プラグにホコリがたまらないよう、コンセントから抜いて定期的に乾いた布でふき取ってください。
※ ホコリが火災の原因になります。

指示実行



●シャワートイレ本体･電源プラグ･コードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼し、故障したまま使用しないでください。
※ 感電・火災・漏水の原因になります。
●シャワートイレ本体および給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。
※ 感電・火災・室内浸水の原因となります。

指示実行

電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。
※ 感電・火災の原因になります。

指示実行

⚠ 警告

電池は以下の事を守り、正しく使用してください。

指示実行

- ⊕⊖を正しく入れてください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
- 使い切った電池はすぐに器具から取り出してください。
- 電池を破棄するときは、テープなどで絶縁を行ってください。
  ※ 電池の液もれにより火災の原因となります。
- 乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
  ※ 誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池液が身体に付着したときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ってください。
  ※ 失明の恐れがあります。医師に相談してください。

電池を取り扱うときは、以下の事はしないでください。

禁止

- 金属製のもの（ネックレス・ヘアピンなど）と一緒に持ち込んだり保管しないでください。
- 新しい電池と古い電池や種類の異なる電池を一緒に使用しないでください。
- 過熱・分解したり、水や火の中に入れたりしないでください。
  ※ 電池の液もれにより火災の原因となります。

⚠ 注意

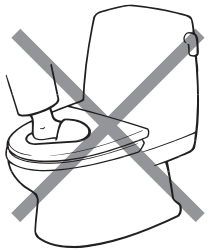
プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外 (トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール) は使用しないでください。

禁止

※ プラスチック部が割れてケガの原因になります。
※ 感電・火災の原因になります。

便フタや本体の上に乗らないでください。
※ 破損してケガをすることがあります。

禁止



タバコや灰皿などの火気類を近づけないでください。
※ 火災の原因になります。

火気禁止

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。

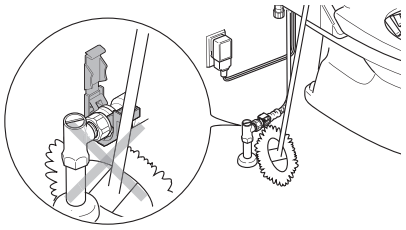
指示実行

- ゴミが O リングに付着した状態で取り付けないでください。
  ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。

⚠注意

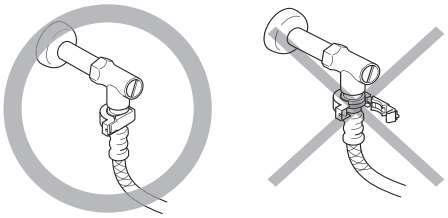
清掃時など、クリップに衝撃を与えたり、引っ掛けたりしないでください。
※ クリップの破損により給水ホースが外れ、室内浸水の原因となります。

禁止



クリップは給水ホースに、確実にはまっていることを確認してください。
※ はまっていないと給水ホースが外れ、漏水する恐れがあります。

指示実行



便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。
※ 破損部でケガをすることがあります。早めに交換してください。

接触禁止

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行い、電源プラグをコンセントから抜いてください。（36 ページ参照）
※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。
※ 水が汚れて皮膚の炎症などを起こす原因になります。

指示実行

定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認してください。
※ 部品の劣化・摩耗などになる水漏れが発見できず、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

指示実行

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れないでください。
※ ケガの原因になります。

禁止

便器に熱湯を注がないでください。また、衝撃を与えないでください。
※ 破損や漏水の原因になります。

禁止

便フタにもたれないでください。
※ 便フタが傷ついたり、**破損の原因**になります。

禁止

水道水以外に接続しないでください。
※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

禁止

次のような方が使用されるときには、周りの方が転倒に注意してください。
〔お子さま、お年寄、ご自分で座ることや立ち上がることができない方〕
※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。

指示実行

止水栓に手をかけたり、乗ったりしないでください。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

お掃除のときには、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
※ 感電の恐れがあります。

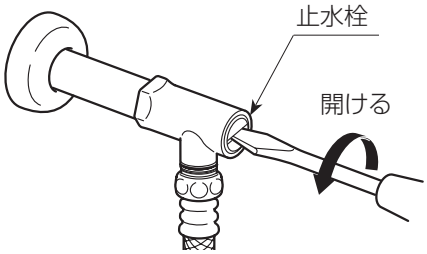
指示実行

お使いになる前に確認してください

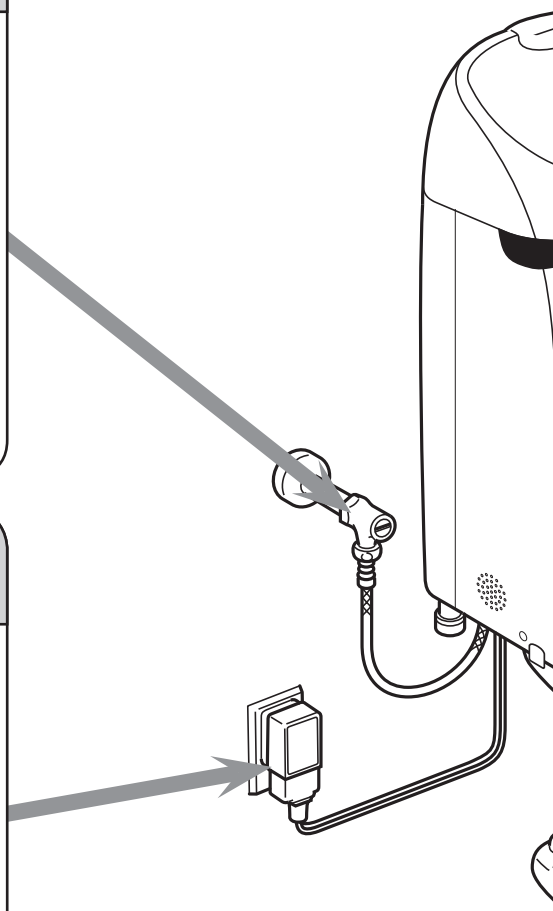
シャワートイレをはじめて使用される前に必ず下記の項目を確認してください。

1 止水栓が開いていることを確認します。

止水栓が閉まっている場合は、反時計回りに回して開けます。
開いている場合は調節してありますので、必ずもとの位置に戻してください。

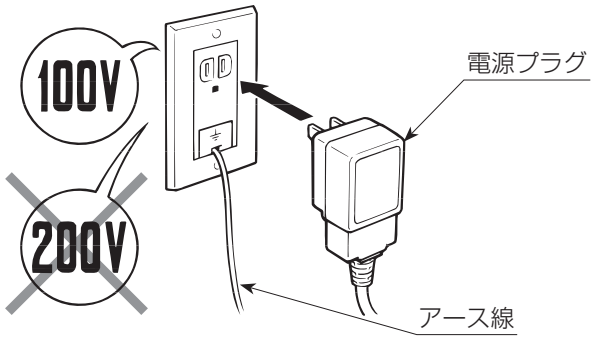


※ 止水栓を閉めすぎると、ロータンクへの給水時間が長くなったり、手洗い水が出ないことがあります。
※ ロータンクへの給水中、便器の中に少しずつ水が流れる場合があります。



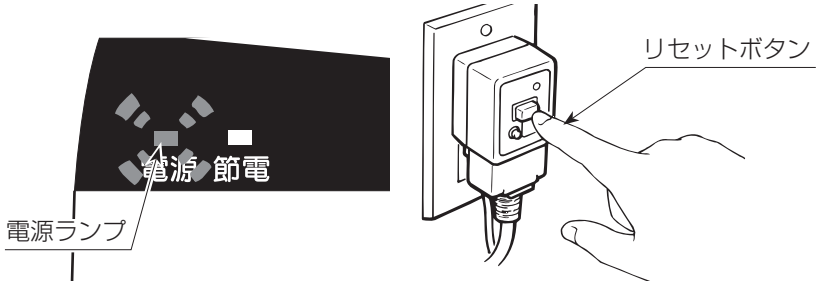
2 電源プラグとアース線をコンセントに接続します。

1. アース線をコンセントのアース端子に接続します。
2. 電源プラグを交流 (AC) 100V のコンセントに差し込みます。



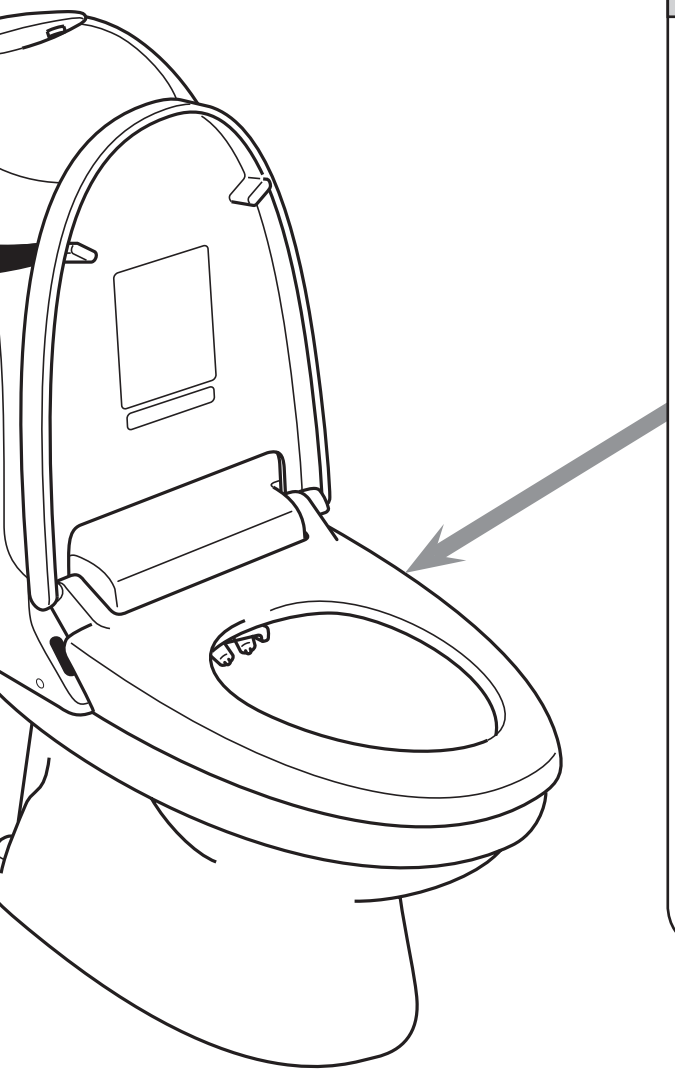
3. 表示部の電源ランプが点灯していることを確認します。

表示部の電源ランプ（赤）が点灯します。
もし、電源ランプが点灯しなかったら電源プラグのリセットボタンを押してください。



注意 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。

※ 電源プラグには、シャワートイレ内部で万一漏電が起こった場合、電気を遮断する安全装置が付いています。



3 おしり洗浄を確認します。

1. 腕を便座にのせたまま、おしり（パワフル）スイッチを押します。
2. ノズルが伸びてきたら、先端に手をかざしてシャワーを受け止めてください。
   ただし温水タンクが満水でないと約 1 分かかることがあります。

3. シャワーを止めるときは、止スイッチを押してください。

ご使用方法（11 ページ以降）をご覧になって他の機能も確認してください。

※ 便座に**着座センサー**が付いていますので、便座に触れていないとおしり洗浄は作動しません。

■ 時計の合わせ方

※ AM（午前）、PM（午後）に注意してください。

「時」と「分」スイッチを押して時刻を合わせます。

（☞ 4 ページ）

時刻合わせスイッチ

表示部

⚠ 警告

確実にアース線をアースターミナルに接続してください。

※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。

※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

⚠ 警告

- 交流 100V 以外では使用しないでください。
- タコ足配線はしないでください。
  ※ 火災の原因になります。

ご使用方法

《ご使用前の準備》

シャワートイレを使用する前に下記の操作をしますと、より快適にご使用になれます。

■電源（電源の入／切）

電源スイッチを押して電源の入／切をします。

※ 電源が入ると本体表示部の電源ランプが点灯します。

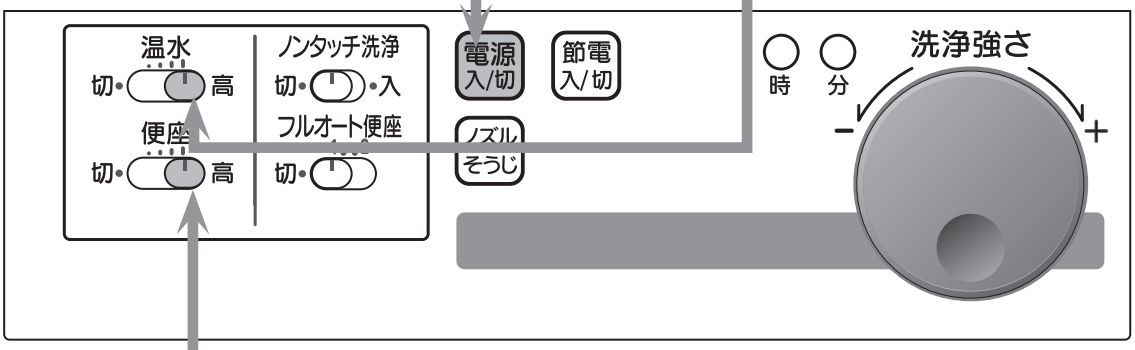
※ 電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に電源は「入」の状態になります。

■温水（シャワーの温めかた）

温水スイッチでシャワーの温度を調節します。

スイッチは４段階（「高」、「中」、「低」、「切」）に切替えできますので、お好みの温度に設定してください。

※ シャワーはすぐには温まりません。あらかじめ使用する 10 ～ 15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。



■便座（便座の暖めかた）

便座スイッチで便座の温度を調節します。

スイッチは４段階（「高」、「中」、「低」、「切」）に切替えできますので、お好みの温度に設定してください。

※ 便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する 10 ～ 15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。

⚠ 警告

- 長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。
- 次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
  〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕
  ※ 「切」以外の温度で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

参考
座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオート OFF”機能が付いています。
（☞ 21 ページ参照）

《基本機能の使いかた》

■おしり洗浄

1 おしりのパワフルまたはマイルドスイッチを押します。

局部周辺に付着した汚物を洗い流す機能です。
ノズルの先端からシャワーが出て、おしりを洗います。

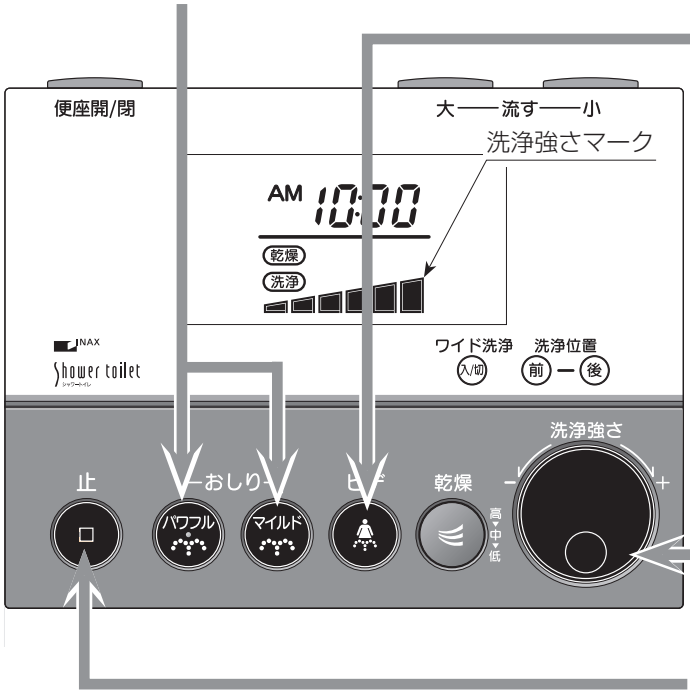
※ 力強く洗浄する**パワフル洗浄**と、たっぷりの湯量で優しく洗浄する**マイルド洗浄**の２種類があります。
※ おしり洗浄中も洗浄強さは調節できます。

■ビデ洗浄

1 ビデスイッチを押します。

局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
ノズルの先端からシャワーが出て、女性のデリケートな部分を洗います。

※ ビデ洗浄中も洗浄強さは調節できます。



2 洗浄強さダイヤルを回してシャワーの強さを調節します。

お好みに合わせて６段階に調節ができます。

弱くする場合
反時計回りに回す

強くする場合
時計回りに回す

3 止めるときは止スイッチを押します。

※ おしりおよびビデ洗浄は、２分後に自動的に停止するセルフストップ機構付きです。

※ 洗浄強さは液晶表示部の洗浄強さマークに表示されます。

※ **ノズルオートクリーニングについて**
おしり・ビデ洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

注意

- 水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、ノズルが出ないことがあります。このような場合は、洗浄強さを強くしてください。
- 便座には、深く腰掛けてください。
  深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
  ※ 常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

参考
洗浄強さを一番弱くしてもまだ強いと思われる方のために、シャワーを最弱にする機能が付いています。（☞ 22 ページ参照）

■ワイド洗浄

1 ワイド洗浄スイッチを押します。

おしりまたはビデ洗浄中にノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。

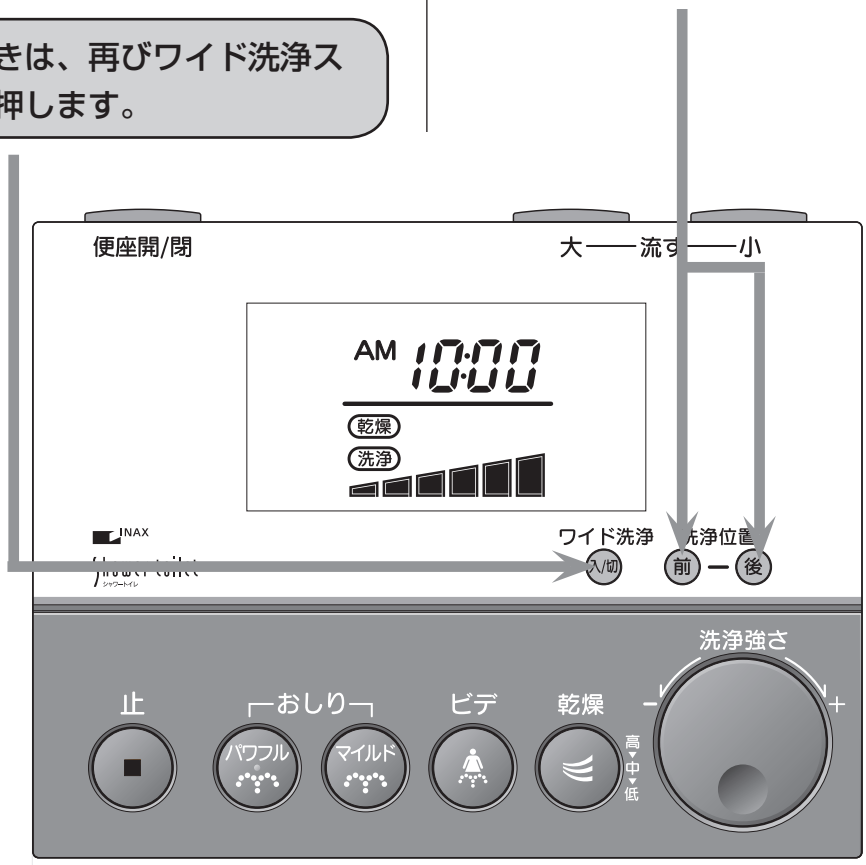
2 止めるときは、再びワイド洗浄スイッチを押します。

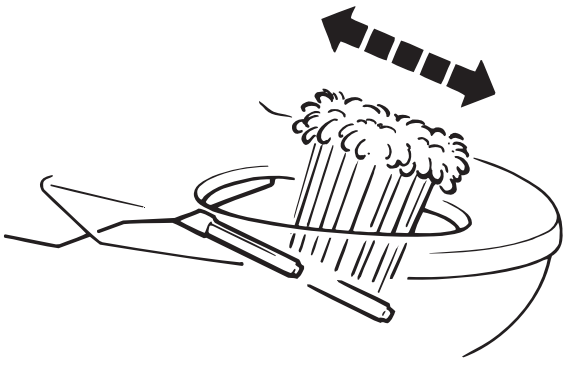
■洗浄位置の調節

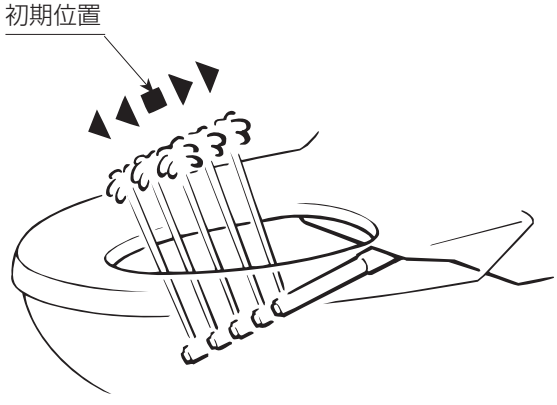
洗浄位置の「前」または「後」スイッチを押します。

おしりまたはビデ洗浄中に洗浄位置を全５段階に調節することができます。

※ 便座から立ち上がると、自動的に初期位置に戻ります。







※ 洗浄位置が調節できます。

■乾燥

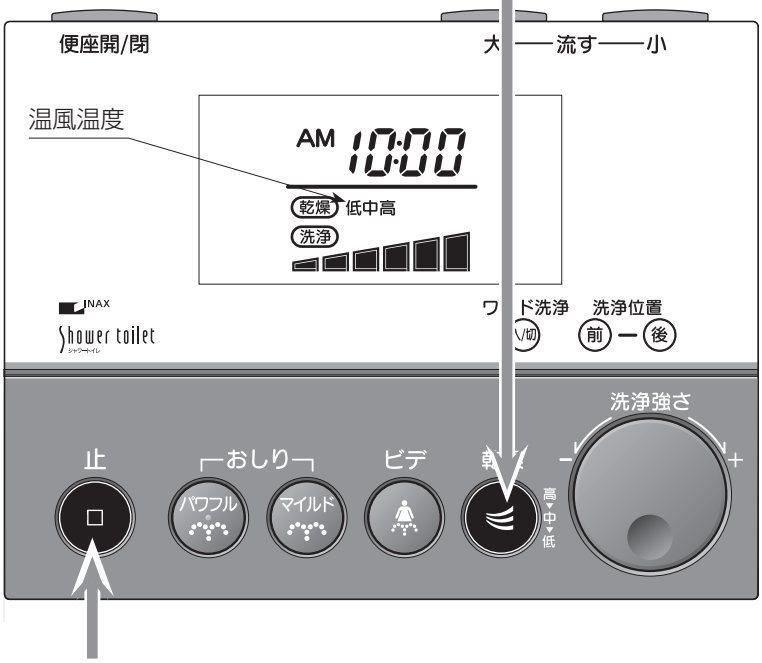
1 **乾燥スイッチを押します。**

温風が出て、シャワーで濡れた部分を乾燥します。

2 **温風温度を変えるときは、再び乾燥スイッチを押します。**

スイッチを押すたびに温風温度が「高」「中」「低」と切り替わりますのでお好みの温度に設定してください。

※ 温風温度は液晶表示部に表示されます。



3 **温風を止めるときは止スイッチを押します。**

※ 乾燥は、４分後に自動的に停止するセルフストップ機構付きです。

⚠ 警告

- 乾燥を長時間使用するときは、乾燥温度を「低」にしてください。
- 次のような方が使用されるときには、周りの方が乾燥温度を「低」にしてください。
  〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕
  ※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドの恐れがあります。

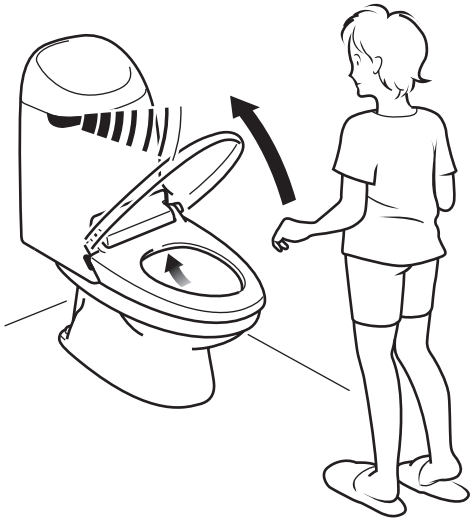
指示実行

参考

- 洗浄後、トイレットペーパーで軽く水滴を取ってから乾燥スイッチを押せば、素早く乾燥できます。
- 温風温度が「高」から始まるパターンを「低」から始まるパターンに切り替える“温風「低」始動”機能が付いています。（☞ 21 ページ参照）

■脱臭

1 便フタが開くと脱臭を始めます。



※ 着座時以外は、脱臭ファン能力を上げてより広い範囲のニオイを吸い込んで除去します。

2 便座から立ち上がると約 1 分後に停止します。

※ シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カートリッジが装着されています。（☞ 30 ページ）

■脱臭を使用しない場合

●操作方法

止スイッチとビデスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。（操作受付時、「ピッピッ」という音が鳴ります。）
人が近づいても脱臭ファンは作動しません。

再び使用する場合も、止スイッチとビデスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。

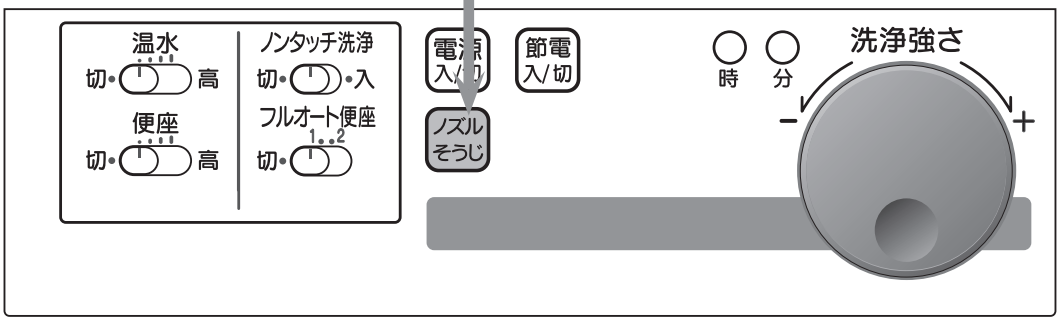
同じタイミングで２秒以上押し続けます。

■スーパーノズルクリーニング

ノズルそうじスイッチを押します。

ノズルが本体に収納されたまま約 5 秒間洗浄します。このときノズルの奥から水が出て、ノズルを洗います。

※ このシャワートイレはおしり・ビデ洗浄前に、自動的にノズル周辺をぬらしておくことで汚れを付きにくくしています。
※ このシャワートイレはオートクリーニング機能付で、おしり・ビデ洗浄後、自動的にノズルやその周辺を幅広く洗います。
※ ノズルを引き出してご自分でも掃除できます。
（☞ 27 ページ参照）

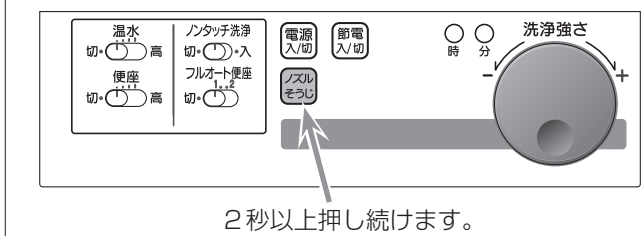


■スーパーノズルクリーニングを使用しない場合

●操作方法

ノズルそうじスイッチを 2 秒以上押し続けます。
（操作受付時、「ピッピッ」という音が鳴ります。）
おしり・ビデ洗浄前にノズル洗浄を行わなくなります。

再び使用する場合も、ノズルそうじスイッチを 2 秒以上押し続けます。
※ オートクリーニング機能は働きます。



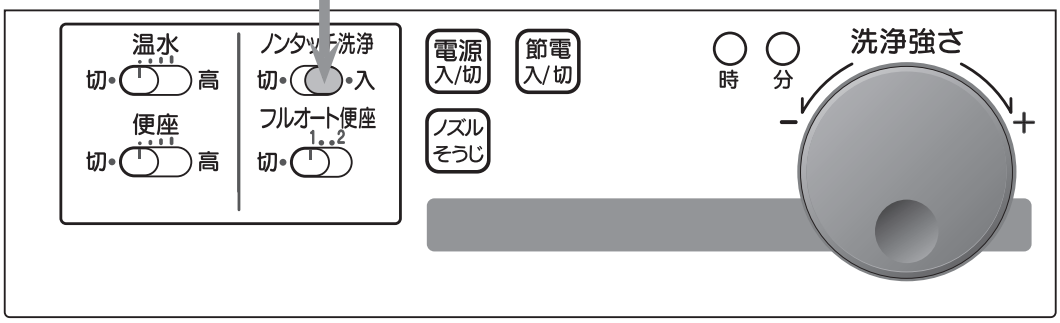
■便器洗浄

便器洗浄には 3 通りの方法があります。
1. 便座から立ち上がると数秒後に自動で洗浄を行ったり、また男性の小用時に自動で小洗浄を行う**“ノンタッチ大小洗浄”**。
2. リモコンの流すスイッチを押して便器洗浄を行う**“リモコン便器洗浄”**。
3. ロータンク側面の洗浄ハンドルを操作して行う**“手動大洗浄”**。（停電時などに使用します。）

1. ノンタッチ大小洗浄のしかた

1 ノンタッチ洗浄スイッチを「入」にします。

2 使用しないときは、ノンタッチ洗浄スイッチを「切」にします。



※ ノンタッチ大小洗浄は座った時間を自動的に判別して「大洗浄」、「小洗浄」を行います。
座る時間が 6 秒以上、50 秒未満の場合「小洗浄」を行います。ただし、50 秒未満であってもおしり洗浄を使用した場合は「大洗浄」を行います。
※ 男性の小用の場合、便座が開いた状態で便器の前に 6 秒以上立つと小洗浄をします。
ただし、手洗付の場合、便器から離れないとノンタッチ洗浄をしないため、手洗吐水口から水が出ません。手を洗うときは流す「小」スイッチを押して便器洗浄をしてください。

注意

- 女性の小用で紙をたくさん使用した場合、「小」で洗浄してしまうと紙が流れない場合がありますので、リモコンまたは手動洗浄にて再度洗浄ください。
- ノンタッチ大小洗浄中に電源プラグを抜かないでください。
  ※ 洗浄水が流れっ放しになります。

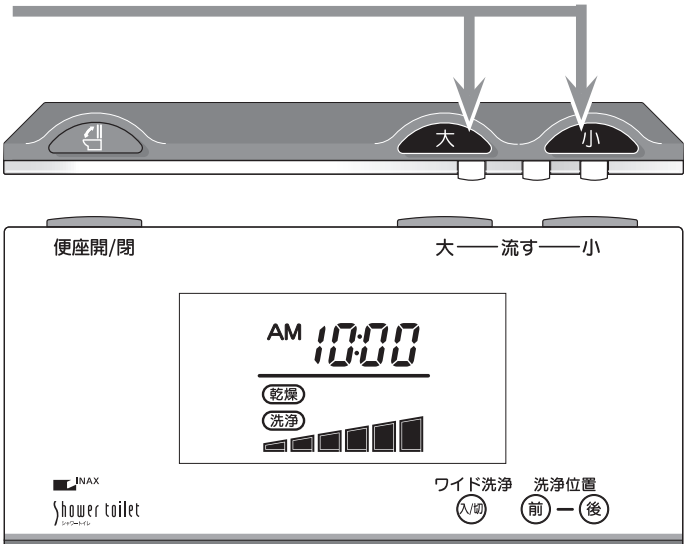
参考

ノンタッチ洗浄は、便座から立ち上がってから約 6 秒後、自動的に便器洗浄を開始します。
この開始時間を、約 15 秒後に切り替えることができます。（☞ 21 ページ参照）

2. リモコン便器洗浄のしかた

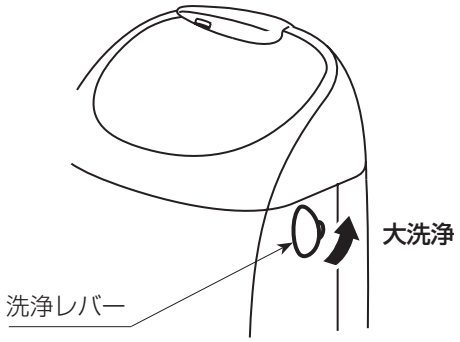
「大」：大便時に押します。
「小」：小便時に押します。

※ 大便時に「小」スイッチを押すと、汚物が流れないことがあります。



3. 手動大洗浄のしかた（停電時など）

洗浄レバーを奥に回します。



※ 手前に回した場合は便器洗浄をしません。

注意

- 女性の小用で紙をたくさん使用した場合、「小」で使用されますと紙が流れない場合がありますので「大」の方でご使用ください。
- 一回目の便器洗浄から間をおかずに二回目を行うと、洗浄ができない場合があります。このようなときはしばらく間を置いてから手動洗浄にて洗浄を行ってください。

■節電

節電機能には**スーパー節電**と**ワンタッチ節電**の２種類があります。
スーパー節電とは、使用していないとき、温水と便座の温度を下げて、消費電力を抑える節電です。
ワンタッチ節電とは、長時間使用しない夜間など６時間、温水と便座のヒーターを切にして消費電力を抑える節電です。スーパー節電と併用することで、さらに効果的な節電が行えます。

スーパー節電（常時）

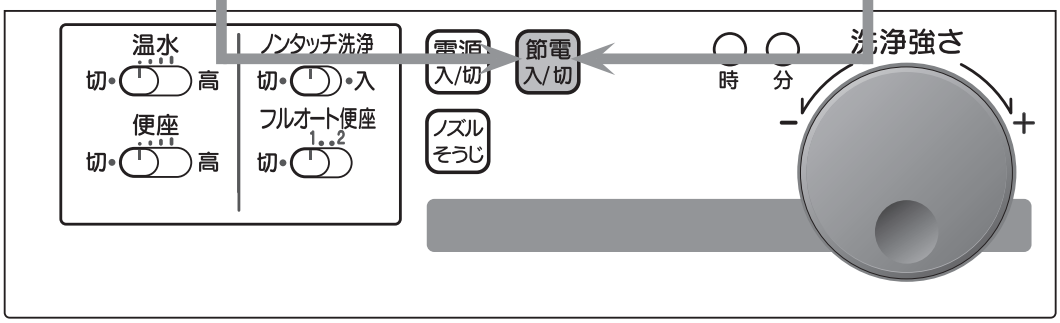
1 **節電スイッチを２秒以上押し続けます。**（表示ランプ点滅下記参照）

トイレ使用時は、温水温度と便座温度を設定状態に戻し、便座から離れると節電を再開します。

ワンタッチ節電（6 時間）

1 **節電スイッチを押します。**
（表示ランプ点滅下記参照）

押してから６時間、温水ヒーターと便座ヒーターへの通電を停止します。６時間後、温水温度と便座温度を設定状態に戻します。



※ 使用していないときは常に節電しています。スーパー節電が作動しているときは、表示ランプが 0.5 秒間隔で２回ずつ点滅します。

※ ワンタッチ節電と併用した場合、節電ランプの点滅はワンタッチ節電と同様となります。

※ ワンタッチ節電が作動しているときは、表示ランプが 0.5 秒間隔で１回ずつ点滅します。

※ ６時間経過すると、自動的に機能はもとの状態に戻り、節電ランプは点滅から消灯に切り替わります。
※ ワンタッチ節電は１日に、何度でも設定できます。

2 **使用しないときは、再び節電スイッチを２秒以上押し続けます。**（表示ランプ消灯）

※ ワンタッチ節電作動中は、スーパー節電の設定・解除ができません。

2 **使用しないときは、再び節電スイッチを押します。**（表示ランプ消灯）

※ 節電時は温水と便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。
その際は節電を解除してください。
※ 節電機能を使用しない場合でも便フタを閉じておくと節電に効果的です。

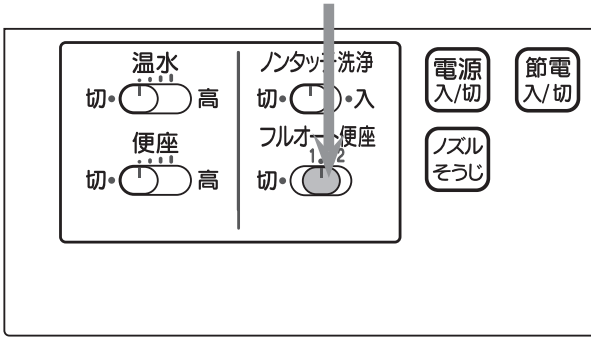
■フルオート便座（便フタ・便座電動開閉）

ノンタッチ開閉

1 フルオート便座スイッチを「1」（モード 1）にします。

便器の前に立つと便フタが自動で開きます。
便器から離れると約 1 分後に閉まります。

※ フルオート便座スイッチを「2」（モード 2）にしておくと便器の前に立つと便座・便フタが開き、便器から離れて約 1 分後に便座･便フタが閉まります。

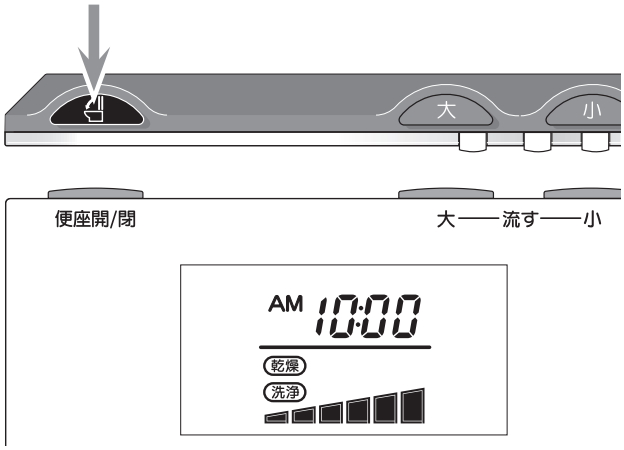


2 使用しないときは、フルオート便座スイッチを「切」にします。

便座電動開閉

1 便座開 / 閉スイッチを押します。

便座が開きます。

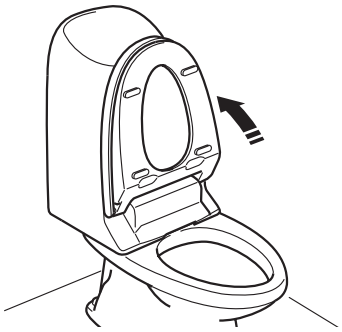


2 便座を閉めるときは、再び便座開 / 閉スイッチを押します。

※ フルオート便座スイッチを「1」または「2」にしておくと便器から離れて約 1 分後に便座・便フタが閉まります。

「1」の場合
（便フタのみの開）

「2」の場合
（便フタ・便座の開）



※ 人体検知センサーと着座センサーで人を検知して、自動的に開閉します。
※ 小さなお子さまが使用するときは、リモコンのフルオート便座スイッチを「切」にしてください。
小さなお子さまの場合、着座センサーが検知することができず、使用中に便フタが閉じてくることがまれにあります。

便フタおよび便座にカバーを取り付ける場合、不適切なカバーをご使用の場合、便座や便フタが電動で開かなかったり、不具合が生じる場合があります。

■より快適な機能

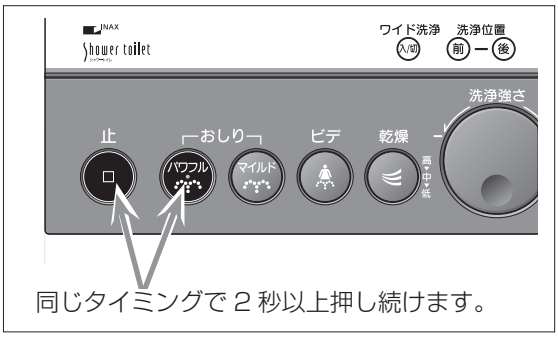
便座ヒーターオート OFF について

座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする機能が付いています。
下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

- 止スイッチとパワフルスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。
  （セット完了時、「ピッピッ」という音が鳴ります。）
- 解除も同じ方法で行います。

※ 便座ヒーターは、立ち上がると自動的に復帰します。

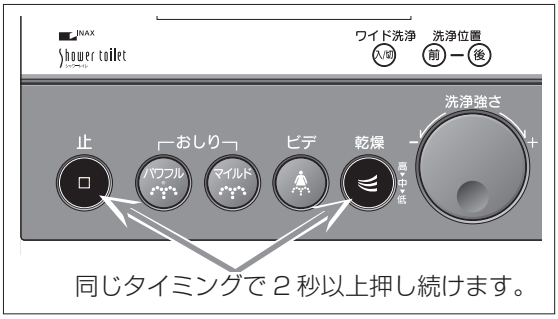


温風「低」始動について

温風温度を「低」から始まるようにすることができます。
お年寄り、身体の不自由な方、温度感覚のない方に便利です。下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

- 止スイッチと乾燥スイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。
  （セット完了時、「ピッピッ」という音が鳴ります。）
- 解除も同じ方法で行います。

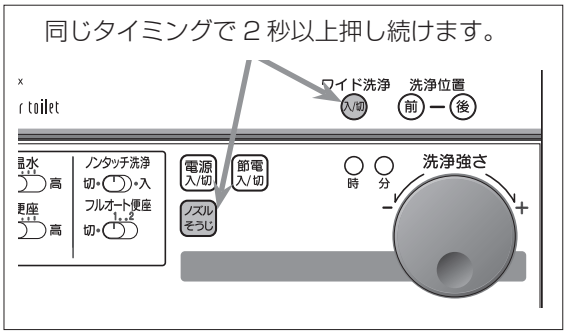


ノンタッチ洗浄開始時間について

ノンタッチ洗浄は、便座から立ち上がってから約 6 秒後、自動的に便器洗浄を開始します。
この開始時間を、約 15 秒後に切り替えることができます。
お好みに合わせて下記の要領で切り替えてください。

■洗浄開始時間の切替方法

- ノズルそうじスイッチとワイド洗浄スイッチ（インテリアリモコンは止スイッチ）を同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。
  （セット完了時、「ピッピッ」という音が鳴ります。）
- 元に戻すのも同じ方法で行います。



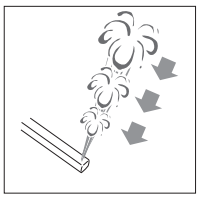
洗浄強さをさらに弱くしたい方のために

おしり洗浄・ビデ洗浄を「弱」にしてもまだ強いと思われる方は下記のように調節してください。

■セットおよび解除方法

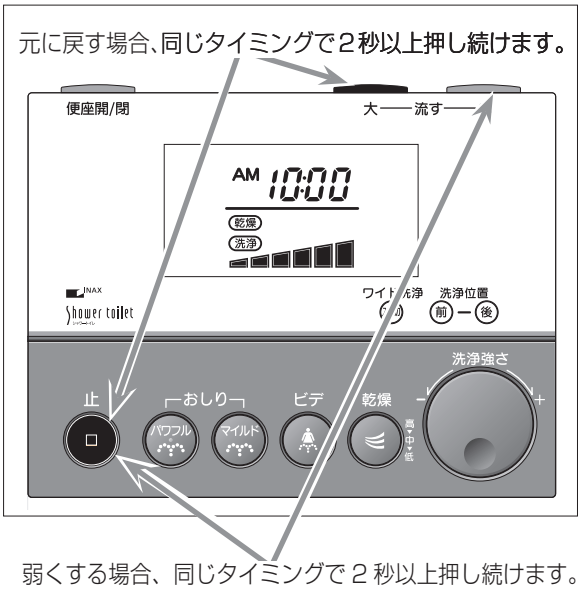
●止スイッチと流すスイッチの「小」を同じタイミングで２秒 以上押し続けます。
「ピッピッ」という音がして洗浄強さが弱くなります。
弱くする設定はさらに４段階ありますのでお好みの強さに調節してください。

※ 水圧の低い所では、最弱の設定にするとノズルが出なくなる恐れがありますのでご注意ください。



押すたびに洗浄強さが１段階ずつ弱くなります。

●元に戻す場合は、止スイッチと流すスイッチの「大」を同じタイミングで２秒以上押し続けます。
「ピッピッ」という音がして、１段階ずつに戻ります。

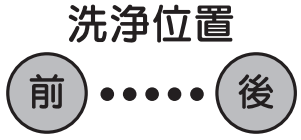


弱くする場合、同じタイミングで２秒以上押し続けます。

《お買い上げ時の設定は》

お買い上げ時の設定は以下のようになっています。「より快適な機能」などで設定を変更し、すべての機能をお買い上げ時の設定に戻したい場合は、**「洗浄位置前」と「洗浄位置後」スイッチを同じタイミングで６秒以上**押し続けてください。（セット完了時、「ピッピッ」という音が鳴ります。）

機能説明	お買い上げ時の設定
脱臭の入／切	脱臭する
スーパーノズルクリーニングの入／切	洗浄前にクリーニングする
スーパー節電の入／切	スーパー節電しない
着座時のみ便座ヒーターを切る	切らない
乾燥スイッチの押した順番	「高」→「中」→「低」
ノンタッチ洗浄の開始時間	立ち上がってから６秒後
洗浄強さ「弱」の設定	５段階中の最強



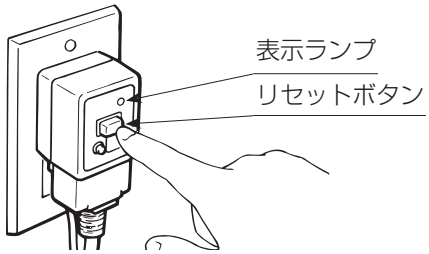
同じタイミングで６秒以上押し続けます。

《知っておいていただきたいこと》

表示ランプが点灯したとき

本体内部で漏電が発生すると、事故防止のために各機能を停止させ、電源プラグの「漏電」表示ランプを点灯させます。また、電源ランプに水がかかると「漏電」表示ランプが点灯する場合があります。

※ 表示ランプが点灯したときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく間をおいて、再び差し込み、リセットボタンを押してください。それでもランプが点灯するようであれば、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または INAX メンテナンスへご連絡ください。



シャワーの温度について

●おしりまたはビデ洗浄を長時間使用するとシャワーの温度がしだいに低下し、そのままさらに使用すると最後には水になります。冬期には冷水（約 5℃）から**高**（約 40℃）になるまでに約 10 分間かかります。

●シャワーの温度は、スイッチの位置に合わせて一定の温度に調節しています。

温水タンク内制御温度
低 : 約 36℃、中 : 約 38℃、高 : 約 40℃。

洗浄強さが最弱ではノズルが出ない、と思ったら。

このシャワートイレは、水道圧によってノズルを押し出し、シャワーを噴出する構造となっています。
水道圧が低いところでは、洗浄強さが最弱付近にあると、シャワーが出ないことがあります。
このようなときは、洗浄強さを「強」にしてください。（☞ 12 ページ）

ノズルの付近から出る水は？

洗浄の前後や温水スイッチを入れたときなど、ノズル付近から水が出ますが、これは構造上必要なもので、故障ではありません。

※ 上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または INAX メンテナンスへご連絡ください。

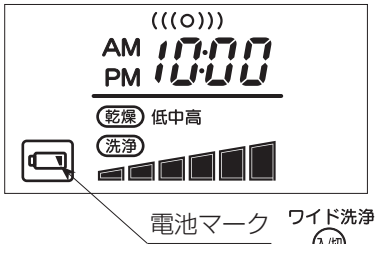
着座センサーが付いています。

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。したがって便座に座らないとおしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭、乾燥の各機能がはたらきません。
また、便座に便座カバー・便フタカバーを付ける場合、不適切なカバーによっては着座センサーが入りっ放しになったり、または入らなかったりして不具合が生じることがあります。

※ 便座に座っているときに停電し、そのままの状態で停電が直った場合、おしり洗浄などの操作ができない場合があります。こんなときはいったん便座から立ち上り、1 ～ 2 秒たってから再度座ってください。

リモコンについて

電池の寿命が近づくと、リモコンの電池マークが点滅します。
お早めに新しい電池に交換してください。（電池交換は☞ 34 ページ）



省エネについて

省エネのためには、以下の項目が有効です。
- ●使用後は便フタを閉じておきましょう。
- ●便座カバーを取り付けると、省エネに有効です。
  ※ ただし、こまめにカバーを洗濯して清潔さを保ってください。
- ●便座や温水の設定はむやみに高温にせず、快適さを損なわない程度に調節しましょう。
- ●春夏秋冬、気温に合わせてこまめに温度設定を行いましょう。
- ●節電機能のあるものはできるだけ利用しましょう。
- ●長時間の外出時など、不在時はこまめに電源を切っておきましょう。
  ※ 凍結破損の恐れがある場合は凍結防止方法を実施してください。（☞ 37、38、39 ページ）

ラジオやテレビに雑音が入ったら。

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。
このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

トイレ用洗剤について

お手入れには、塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒剤を使用しないでください。
- ●プラスチック部に使用すると、割れて事故の原因になります。「安全上の注意」（5 ページ）参照
- ●便器（陶器部）に使用すると気化したガスにより故障・破損の原因になります。

はじめの頃、温風が少し臭うかもしれません。

新しいうちは、温風が少し臭うことがありますが、ご使用とともに消えます。

フルオート便座について

人が便器の前に立ったことを検知して、便フタを自動的に開閉するための人体検知センサーが付いています。
便器のすぐ前に立つと検知しますが、便器の斜め前や離れて立つと検知できずに便フタが開かないことがあります。

ゆっくり閉じる便座・便フタ。

便座・便フタには、あやまって倒したときなどの衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるようにスローダウン機構が装備されています。
※ 強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。

結露について

室温と便器・本体の表面温度差や湿度により、便器・本体の表面に水滴が生じることがあります（結露）。結露を防ぐためには、換気を十分にしてください。なお結露水が生じた場合は、乾いた布でふき取ってください。
※ 結露水は床のしみや破損の原因になります。
※ 本便器は結露しにくい構造になっていますが、室温などの条件により結露する場合があります。

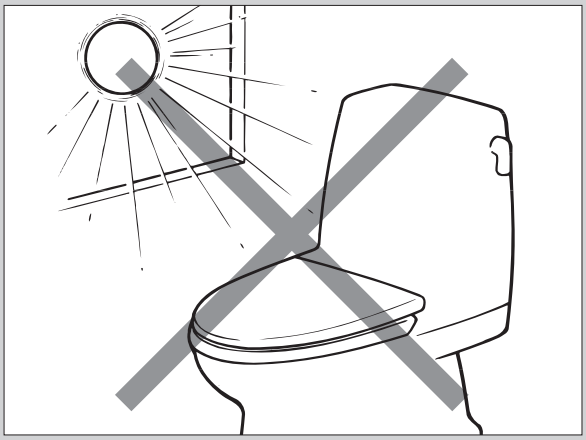
小用時について

- ●洋風便器で立小便をする場合、小便がはねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがあります。座ってご使用いただければ、小便の飛散は軽減できます。
- ●着座した姿勢で小便をする場合、着座位置や小便をする方向によっては、はね返ることがあります。着座位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いていただければ、はね返りは軽減できます。

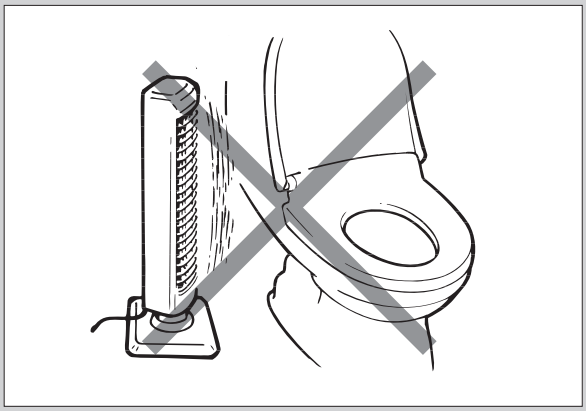
お取り扱い上の注意

■故障を起こさないために守ってください。

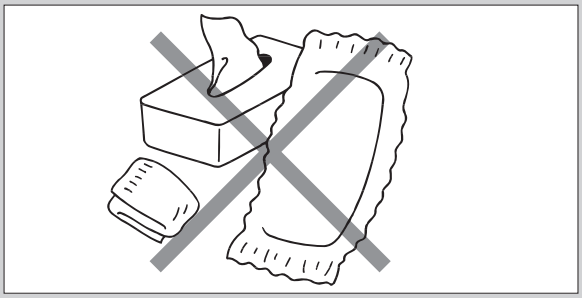
直射日光が当たらないようにしてください。
※ プラスチック部が変色することがあります。



シャワートイレ本体にストーブやヒーターなどを近づけすぎないでください。
※ **変色や故障の原因**になります。

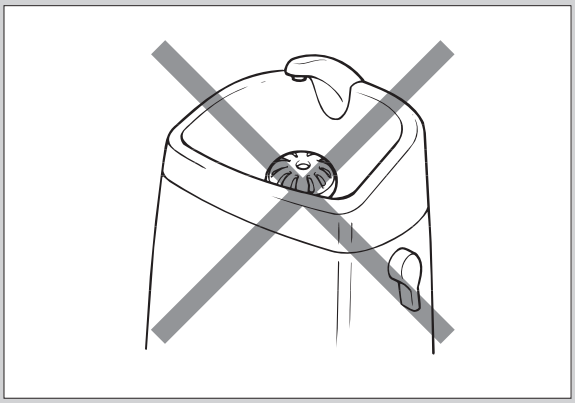


トイレットペーパー以外の紙を使用したり、便鉢に配管がつまるような異物を落とさないでください。
誤って落とした場合は、水を流す前に拾いだしてください。

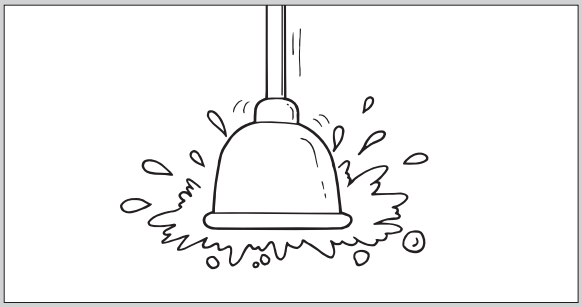


便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。
※ 割れたり**漏電など故障の原因**となることがあります。

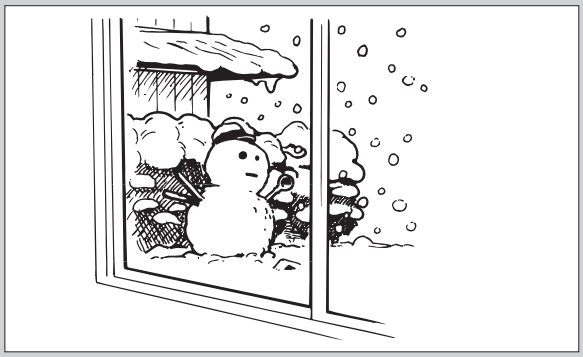
ロータンクに芳香洗浄剤や薬品、石けんなどを置いたり、入れないでください。
※ **故障の原因**になります。



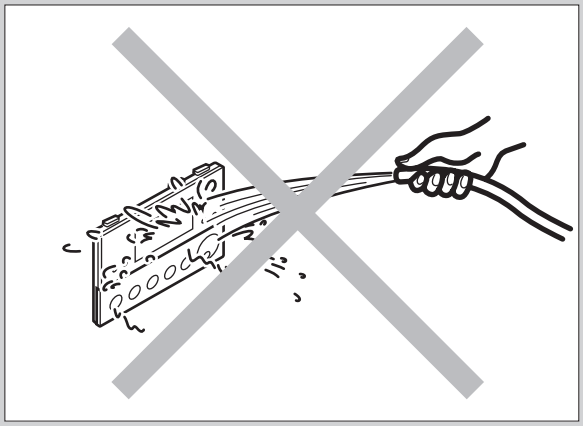
万一詰まった場合には、市販の吸引器（商品名：ラバーカップ）を使って取り除いてください。
詰まったまま水を流さないでください。
※ 便器から汚水があふれて、床を汚すことがあります。



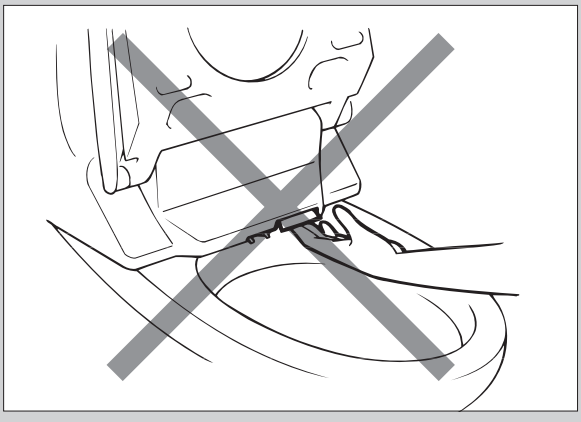
凍結の恐れがあるような夜間は、凍結による破損を防止するために凍結防止方法を実施してください。
(☞ 37、38、39 ページ)



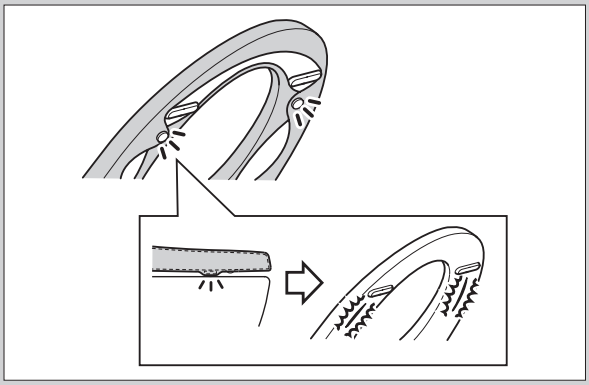
リモコンに水や洗剤をかけないでください。
※ **故障の原因**となることがあります。



絶対に温風吹出口をふさがないでください。
※ **故障の原因**となることがあります。



不適切な便フタカバー・便座カバーを取り付けないでください。
※ 他社市販品のご使用にあたっては、当社では責任を負いかねます。お客さまの責任でご判断ください。
※ 便座カバーのボタン部分と便器とがぶつかり、便座が割れる場合があります。
※ 着座センサーにカバーが掛かり、着座センサーが入りっぱなしになります。これにより脱臭ファンが回りっぱなしになったり、便座が冷たくなることがあります。
※ カバー類をまき込み、便フタが開ききらず倒れてくる場合があります。



本体・便座・便フタなどのプラスチック部を乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。
※ 傷つきの原因になります。
詳しいお手入れ方法は27ページをご覧ください。

ぬれた手でリモコンを操作しないでください。
※ **故障の原因**になります。

プラスチック部に、トイレ用消臭剤をかけないように注意してください。
かかった場合は、すぐにふき取ってください。
※ 光沢がなくなることがあります。

洗浄時に停電が起きたり、故意に電源プラグを抜くと、流れっ放しになる場合があります。
その際は、洗浄ハンドルを戻してください。
(☞ 18 ページ)

お手入れ方法

《日頃のお手入れ》

注意

お手入れをするときは、必ず電源スイッチを押して、本体表示部の電源ランプが消灯していることを確認してください。

便座や便フタ・カバー類（プラスチック部）のお手入れのしかた

● 柔らかい布で水ぶきをしてください。

汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、こまめに水ぶきをしましょう。
また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

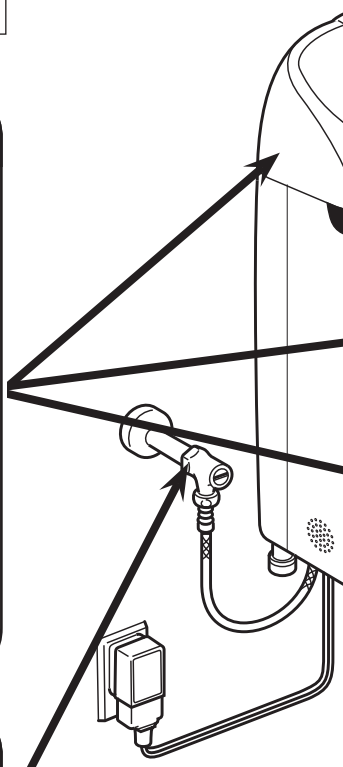
● お手入れには当社純正のシャワートイレお掃除クリーナーまたはトイレ用おそうじティッシュ（別売品）をお勧めします。

市販の便座用洗剤なども使用できますが、中には適さない製品があります。

ご不明な点は洗剤メーカーに確認してから使用してください。

別売品の購入方法については 48 ページをご覧ください。

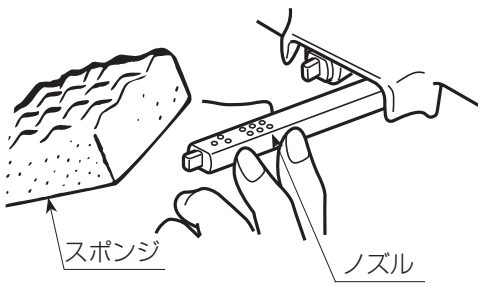
※ このシャワートイレは、便フタが簡単に外せます。（☞ 29 ページ参照）また、本体を浮かせることができるので、便器と本体の間も楽に掃除ができます。（☞ 31 ページ参照）



止水栓など（メッキ部）のお手入れのしかた

止水栓などのメッキ金具は、ミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくと、美しい輝きを保てます。

ノズルのお手入れのしかた

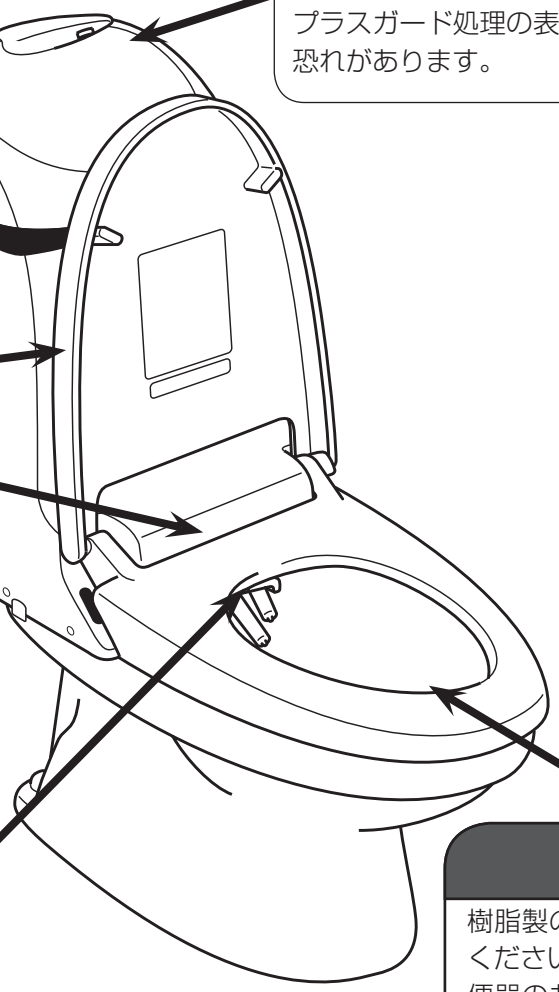


ノズルを引き出し、スポンジなどで掃除してください。

※ ノズルを無理に引っ張ったり、曲げたりしないでください。

手洗ボウル部のお手入れのしかた

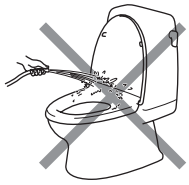
手洗部分には、はっ水コーティングをした防汚加工「プラスガード」を施しています。
かたいスポンジなどでお手入れしないでください。プラスガード処理の表面コーティングがはがれる恐れがあります。



⚠ 警告

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。



⚠ 注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外 (トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール) は使用しないでください。

※ プラスチック部が割れてケガの原因になります。
※ 感電・火災の原因になります。

便器（陶器部）のお手入れのしかた

樹脂製のブラシやスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。
便器のお手入れには当社純正のお掃除ブラシ（別売品）をおすすめします。別売品の購入方法については 48 ページをご覧ください。
熱湯などはお使いにならないでください。便器が破損することがあります。

注意

便器のお手入れに塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒剤は、使用しないでください。
※ 気化したガスにより、故障・破損の原因になります。

抗菌部位について

ノズル·便座·便フタ·タンクカバー·タンクフタに抗菌樹脂を、リモコンのスイッチには抗菌シートを採用しています。

KILAMIC 抗菌商品について

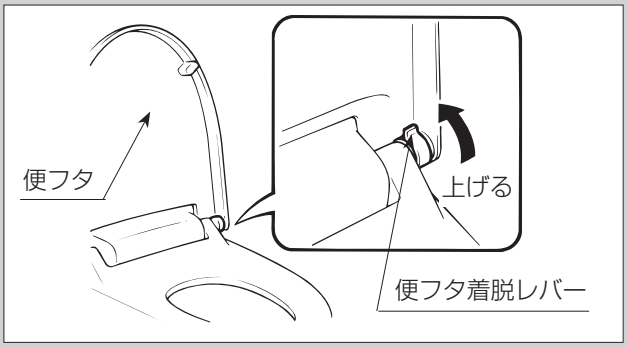
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜などが表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌がまったくなくなるわけではありません。したがって感染などが防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA に適合した製品です。
  KILAMIC 抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会（SIAA) の推進によって抗菌 JIS 規格（JISZ2801）から ISO 規格 (ISO22196) になりました。

《便フタを外して掃除します》

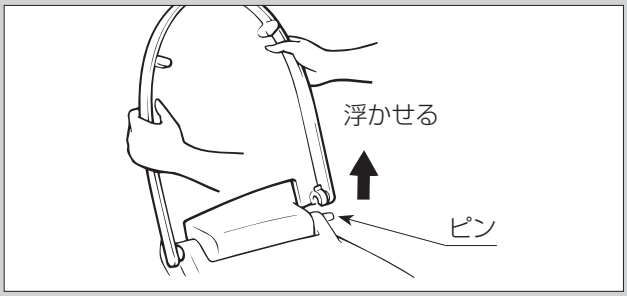
※ 電源スイッチを「切」にしてください。

便フタの外しかた

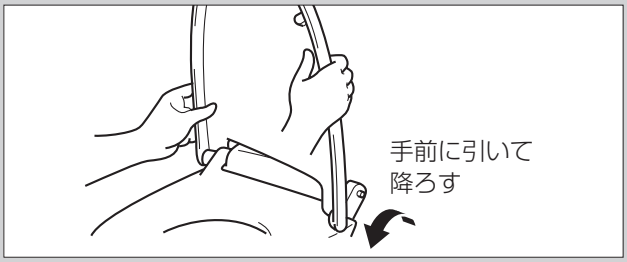
1. 便フタを開け、便フタ着脱レバーを“カチッ”と音がするまで上げます。



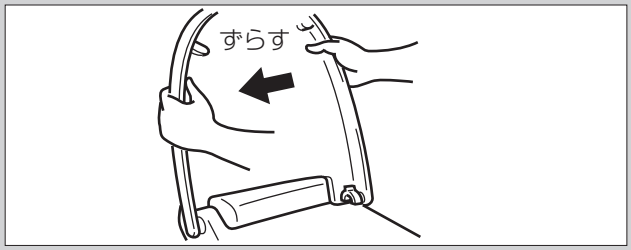
2. 便フタの右側を持ち上げ、便座のピンから浮かせます。



3. 便フタの右側を手前に引いて降ろします。



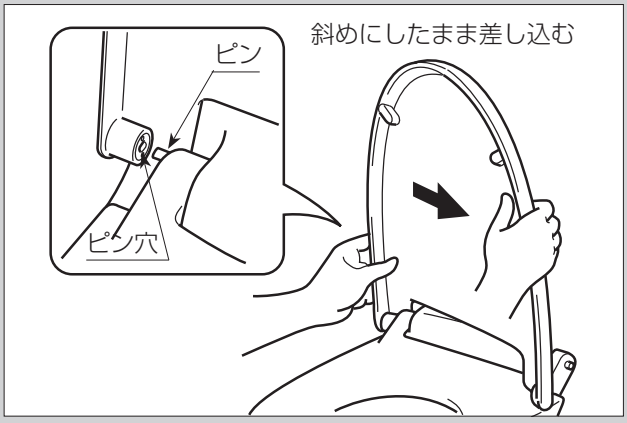
4. 便フタを左にずらして外します。



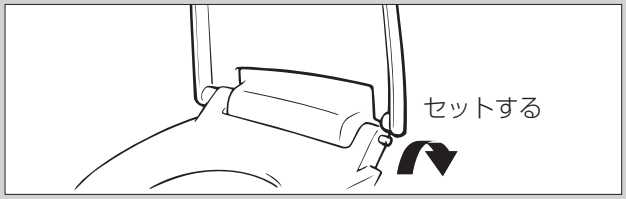
注意
- 便フタに無理な力を加えないでください。
  ※ 破損する恐れがあります。
- 便フタを外した状態で便座を上げないでください。
  ※ カバーや便座が傷つく恐れがあります。

便フタの組み付けかた

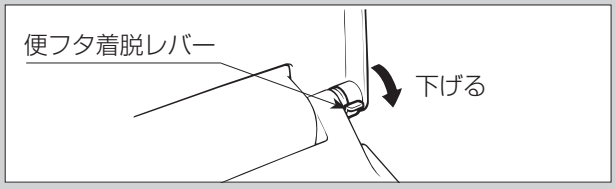
1. 便フタの右側が手前にくるように斜めにして、便フタ左側のピン穴と便座のピンを合わせて差し込みます。



2. 便フタの右側をピンにセットします。



3. 便フタ着脱レバーを“カチッ”と音がするまで下げます。



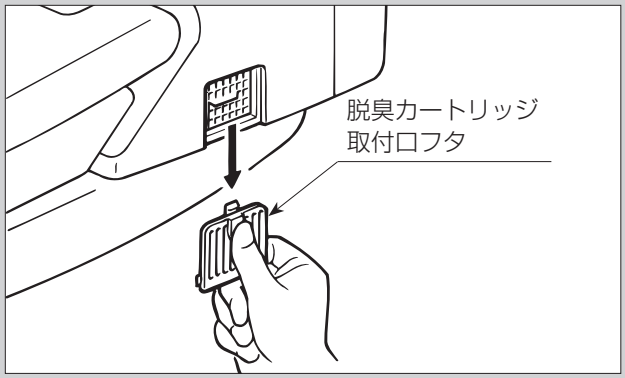
お手入れのあとは、電源スイッチを押して表示部の電源ランプが点灯することを確認してください。

《脱臭効果が弱くなった場合》

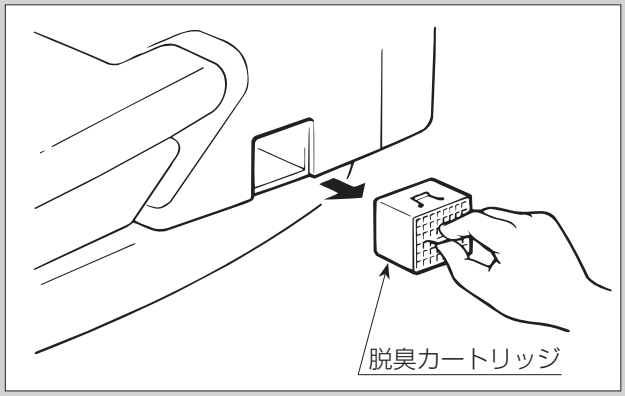
脱臭カートリッジにホコリなどが付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、清掃してください。

脱臭カートリッジのお手入れ方法

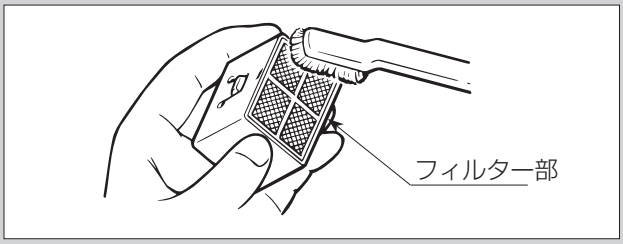
1. 脱臭カートリッジ取付口フタを外します。



2. 脱臭カートリッジのツマミをつまんで抜きます。



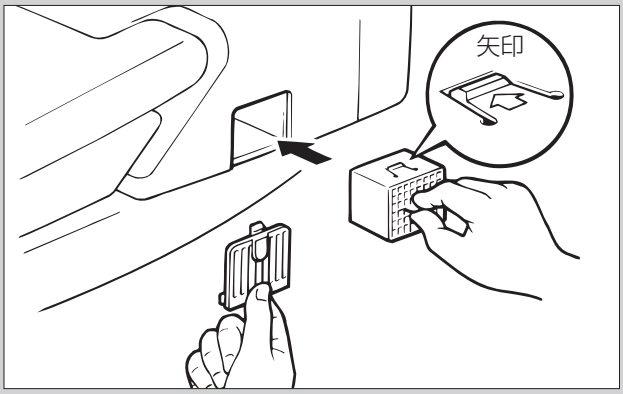
3. フィルターのホコリなどを歯ブラシなどで取り除きます。



注意

脱臭カートリッジ本体は水洗いできませんのでご注意ください。

4. 脱臭カートリッジを取付口に差し込み、フタを取り付けます。



■脱臭カートリッジのお取替えについて

清掃してもまだニオイが気になる場合、脱臭カートリッジの寿命ですので、新品と交換してください。
脱臭カートリッジの寿命は、通常使用で約 7 年です。
※ 脱臭カートリッジの寿命は、4 人家族（男性 2 人、女性 2 人）の平均使用時間を基本としています。

シャワートイレ使用開始日を右の日付記入欄に記入し、脱臭カートリッジ交換の目安としてください。
次回脱臭カートリッジを交換する場合は、脱臭カートリッジにある日付ラベルに使用開始日を記入してください。

シャワートイレ使用開始日をご記入ください。

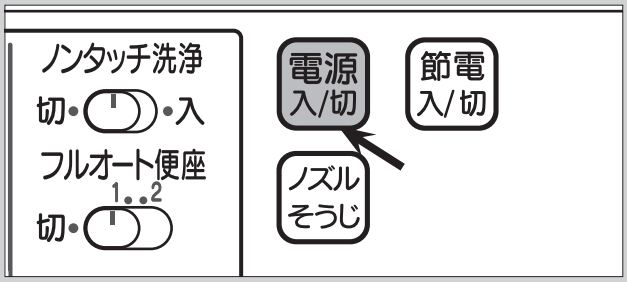
年　　月　　日

※ お取替用の脱臭カートリッジのお求めは、48 ページ“別売品の購入方法”をご覧ください。

《本体と便器の間を掃除します》

1. 本体の浮かせかた

1. 電源スイッチを「切」にします。

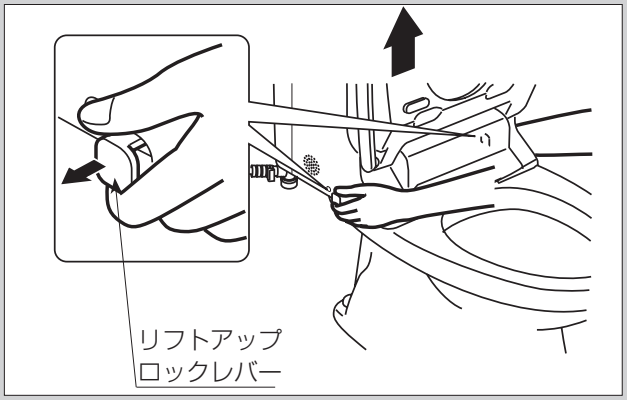


注意 本体を浮かせたまま使用しないでください。
※ 故障の原因となります。

2. 便座、便フタを開けます。

3. 本体両側のリフトアップロックレバーを引きながら、「カチッ」となるまで持ち上げます。

※ リフトアップロックレバーから手を離すと本体がロックされて、浮いた状態になります。

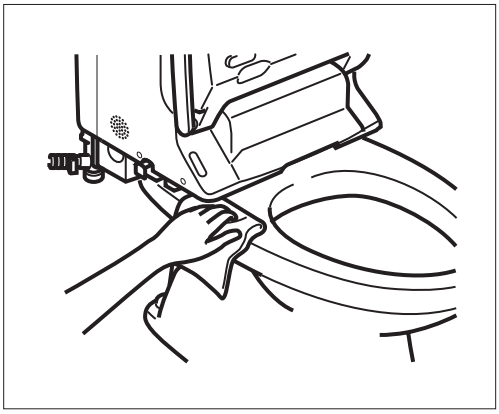


注意
- 無理に持ち上げないでください。
  ※ 故障の原因となります。
- 操作はゆっくり行ってください。
- 無理な姿勢で持ち上げないでください。

■掃除のしかた

本体の掃除は、柔らかい布で水ぶきしてください。
(☞ 27 ページ参照)
※ 便器の掃除は、《日頃のお手入れ》に従ってください。
(☞ 28 ページ参照)

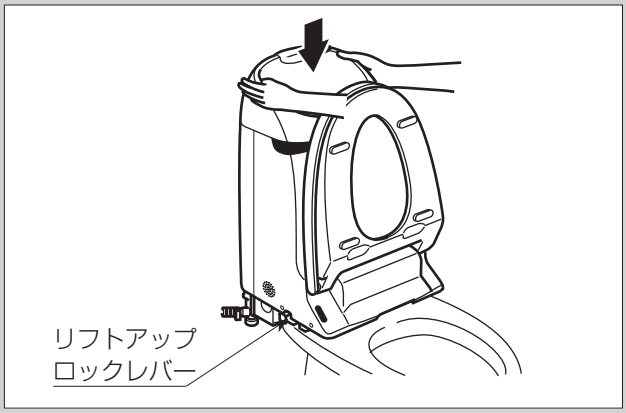
注意
- 便器を掃除しているとき、洗剤が本体にかからないように注意してください。また、便器に洗剤が残らないように水ぶきしてから本体を戻してください。
  ※ 洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。
- 本体を上から押さえると降りてくる可能性があるので注意してください。



2. 本体の戻しかた

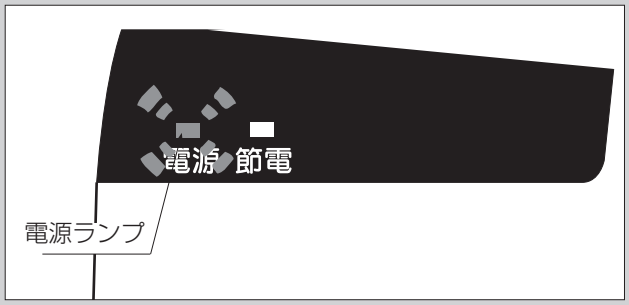
1. 本体を上から“カチッ”と音がするまで軽く押さえます。

※ 本体が元の位置に戻ります。



注意
- 無理に押さないでください。
  ※ 故障の原因になります。
- リフトアップロックレバーが元の位置まで入っていることを確認してください。

2. 電源スイッチを「入」にします。



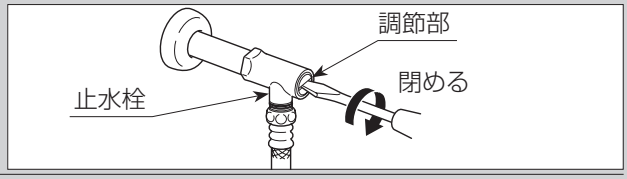
3. すべて終わったら、必ず試運転を行ってください。**（☞ 9、10 ページ）**

《ロータンクへの給水時間が長くなりはじめたら》《シャワーが弱くなってきたなと思ったら》

長期間使用してロータンクへの給水時間が長くなりはじめたり、シャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては 2 年に 1 回程度です。）

ストレーナーの掃除方法

1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。

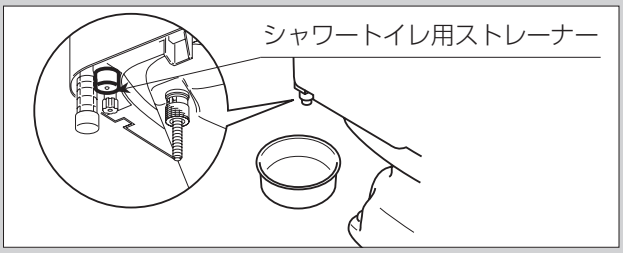


注意　止水栓の調節部は樹脂製ですので、キズを付ける恐れがあります。必要以上に閉めすぎないでください。

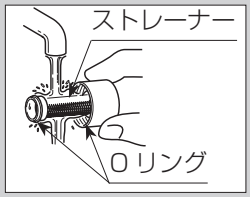
2. ロータンク左下のストレーナーを回して外します。

※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。

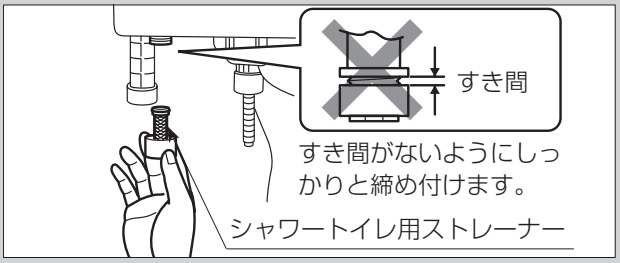
■シャワーが弱くなってきた場合



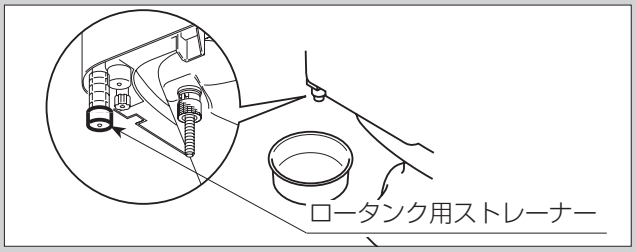
3. ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。



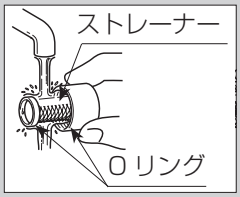
4. ストレーナーを確実に取り付けます。



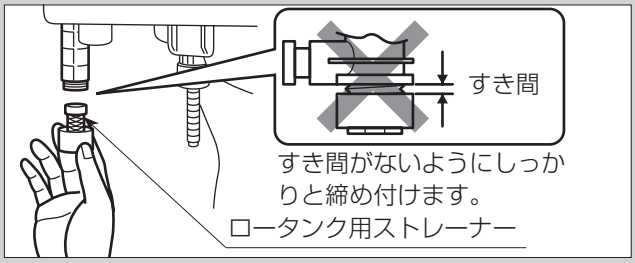
■ロータンクへの給水時間が長くなってきた場合



3. ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。



4. ストレーナーを確実に取り付けます。



注意　2 つのストレーナーを同時に外した場合は、取付口を間違えないようにしてください。

5. 止水栓を全開にします。

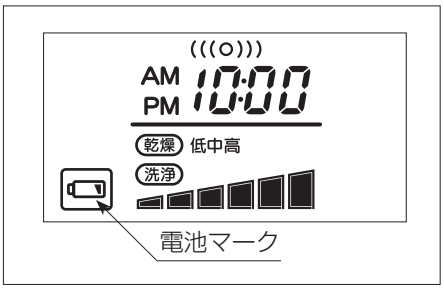
6. 最後に必ず試運転を行ってください。（☞ 9、10 ページ）

⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
- ゴミが O リングに付着した状態で取り付けないでください。
  ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。

《リモコンの電池交換》

電池の寿命が近づくと、電池マークが点滅します。
※ 通常は消灯しています。
※ 付属の電池は施工時の動作チェック用のため、寿命が短い場合があります。
※ リモコンが受光部と反対側の壁に設置してある場合、電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。
下記の要領で新しい電池に取り替えてください。

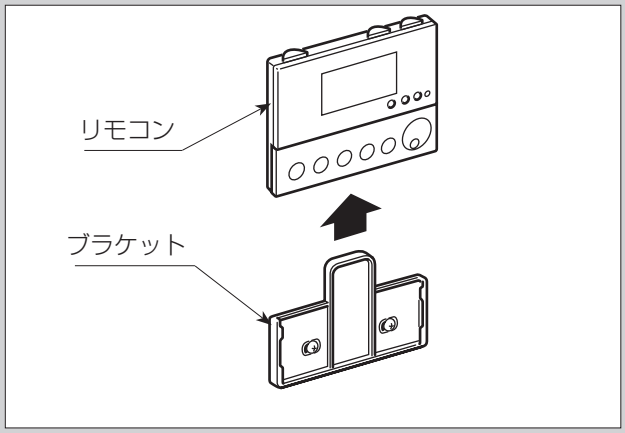


注意

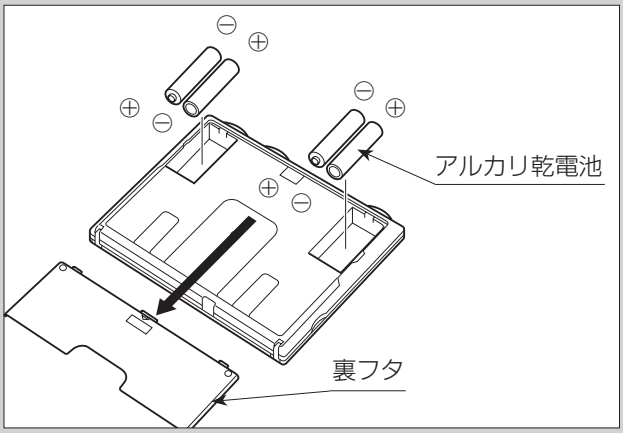
- 電池のプラスとマイナスの向きをリモコンの表示通り正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
- アルカリ乾電池を使用してください。

リモコン電池の取替方法

1. リモコンを上に持ち上げて、ブラケットから外します。



2. 裏フタを外し、新しいアルカリ乾電池（1.5V 単三、4 本）に取り替えます。



3. 裏フタを元通りにはめ、リモコンをブラケットに上から差し込みます。
4. 時刻合わせ「時」「分」スイッチを押して時刻を合わせます。

⚠ 注意

電池は以下の事を守り、正しく使用してください。

- ⊕⊖を正しく入れてください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
- 使い切った電池はすぐに器具から取り出してください。
- 電池を破棄するときは、テープなどで絶縁を行ってください。
  ※ 電池の液もれにより火災の原因となります。
- 乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
  ※ 誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池液が身体に付着したときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ってください。
  ※ 失明の恐れがあります。医師に相談してください。

⚠ 注意

電池を取り扱うときは、以下の事はしないでください。

- 金属製のもの（ネックレス・ヘアピンなど）と一緒に持ち込んだり保管しないでください。
- 新しい電池と古い電池や種類の異なる電池を一緒に使用しないでください。
- 過熱・分解したり、水や火の中に入れたりしないでください。
  ※ 電池の液もれにより火災の原因となります。

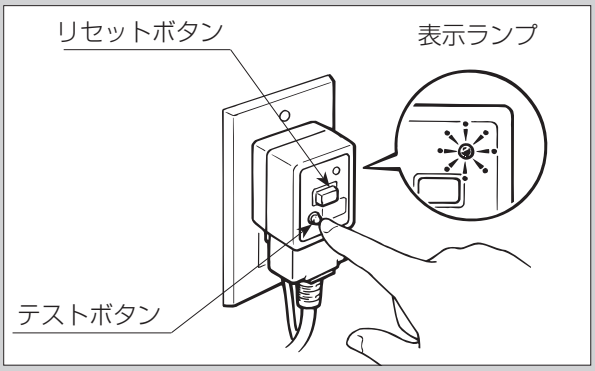
《電源プラグ（漏電保護機能付）の点検》

電源プラグの故障は、思わぬ事故につながることがあります。必ず点検を行ってください。
（目安としては月に 1 ～ 2 回程度です。）

電源プラグの点検方法

1. **電源スイッチを押して「入」にし、本体表示部の電源ランプの点灯を確認します。**
2. **電源プラグのテストボタンを押して、表示ランプが点灯することを確認してください。**
3. **リセットボタンを押して表示ランプが消灯することを確認してください。**

※ この点検を行うと、ワンタッチ節電の設定が解除されます。再度セットし直してください。



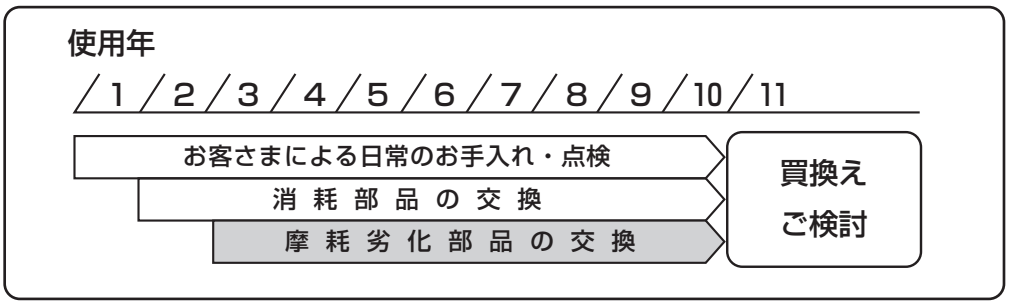
注意 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。

《定期的な部品交換のお願い》

摩耗劣化する部品交換のお願い

- 部品が摩耗・劣化すると水漏れなどの原因になりますので交換が必要です。
- 摩耗劣化する部品の例
  例）止水弁、温水タンク、洗浄ノズル、便座、便フタ、スローダウン、電動開閉ユニット、温風ファン、脱臭ファン、部屋暖房ファンなど
- 部品の交換については、お求めの取扱店または INAX メンテナンスにご依頼ください。製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

〈定期的な点検・部品交換の目安〉

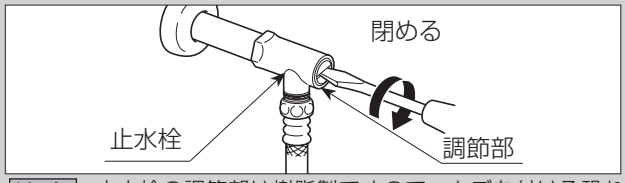


長期間使用しない場合

以下の場合は本体内および給水ホースの水抜きを必ず行い、止水栓を閉め、電源を抜いてください。
- ●旅行などで長い間、シャワートイレを使用しないとき。（水が汚れて詰まりの原因になります。）
- ●別荘などで使用しないとき（冬期、冷え込みが厳しいと、シャワートイレ内の水が凍って破損し、漏水する恐れがあります）。

水抜きおよび電源の取外し

1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。



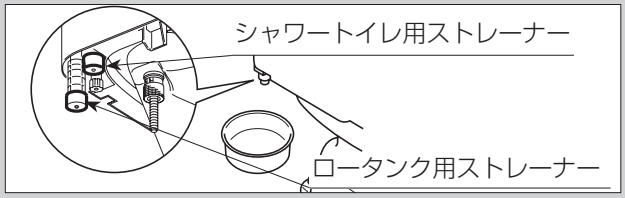
注意 止水栓の調節部は樹脂製ですので、キズを付ける恐れがあります。必要以上に閉めすぎないでください。

2. 洗浄ハンドルを「大」の方へ操作して、ロータンク内の水を抜きます。

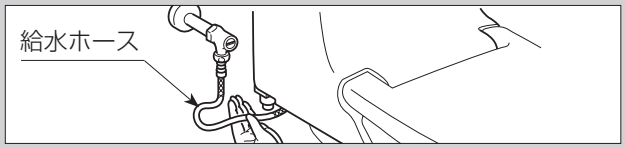
3. 給水ホースから水を抜きます。

①ストレーナーの下に洗面器などを置きます。

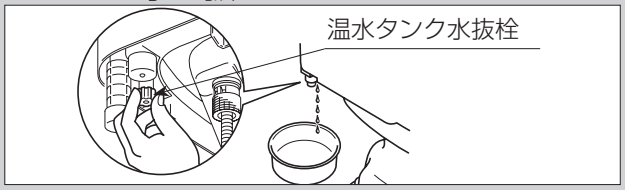
②ストレーナー(2 ヵ所)を外し、ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。



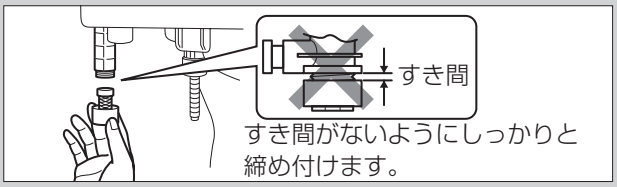
③給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。



4. 温水タンク水抜栓を外して、温水タンクから水を抜きます。



5. ストレーナーと温水タンク水抜栓を確実に締め、電源プラグをコンセントから抜きます。



注意

特に凍結の恐れがある場合：

- ●便器鉢内の溜水をくみ出し、不凍液を入れてください。
  ※ 溜水をくみ出しただけでは、排水管から臭気が上がってきます。
- ●給水管内から水を抜く必要があります。水抜式便器をお使いの方は、上記の手順に加えて室内の水抜栓を操作して、給水管から水を抜いてください。(☞ 38 ページ)

6. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。(☞ 9、10 ページ)

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意

給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。

※給水ホースが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行い、電源プラグをコンセントから抜いてください。

※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

※ 水が汚れて皮膚の炎症などを起こす原因になります。

⚠ 注意

- ●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。

- ●ゴミが O リングに付着した状態で取り付けないでください。

※ 漏水し、室内浸水の原因になります。

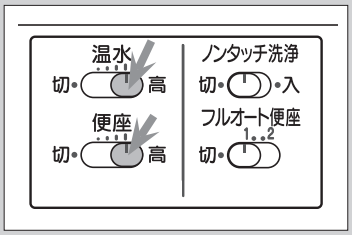
冬期凍結の恐れがある場合

冬期、冷込みが厳しいと、シャワートイレ内の水が凍って破損することがあります。凍結破損を防止するために以下の作業を行ってください。
電源プラグは抜かずに必ずコンセントに差し込み、電源を入れておいてください。

一般的な凍結防止方法

1.温水スイッチを「高」、便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。
節電を行っている場合は、節電を解除します。

2.室内を暖房します。

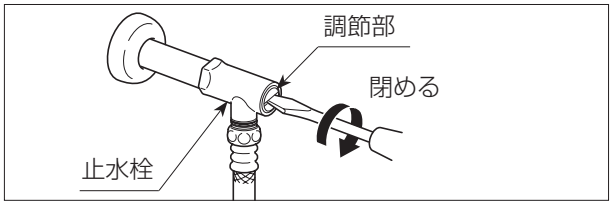


※ もし室内が暖房できない場合は、以下の手順で給水ホースから水を抜いてください。

3.給水ホースから水を抜きます。
（室内が暖房できない場合）

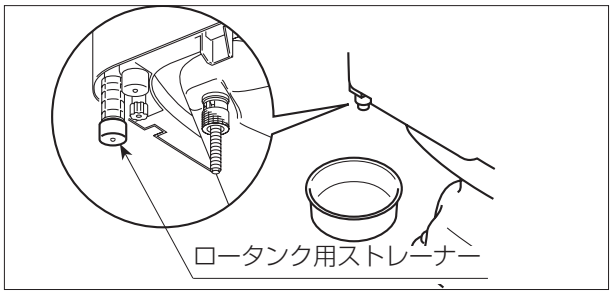
（1）止水栓を閉めて、給水を止めます。

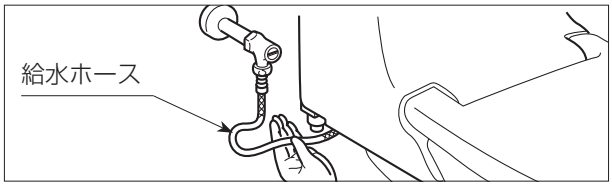
注意 止水栓の調節部は樹脂製ですので、キズを付ける恐れがあります。必要以上に閉めすぎないでください。



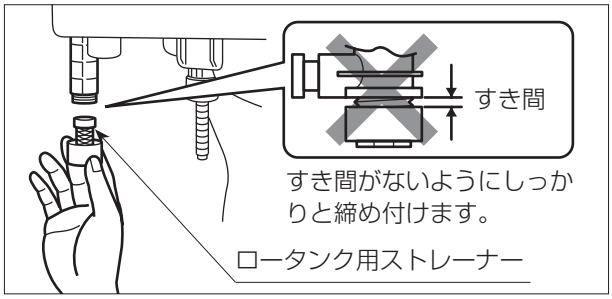
（2）給水ホースから水を抜きます。

①ロータンク用ストレーナーの下に洗面器などを置きます。
②ロータンク用ストレーナーを外します。
③給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。





（3）水抜き後、ロータンク用ストレーナーをしっかりと締め付けます。



4.洗浄ハンドルを「大」の方へ操作して、ロータンク内の水を抜きます。

5.再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞ 9、10 ページ）

⚠ 警告

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。
※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

指示実行

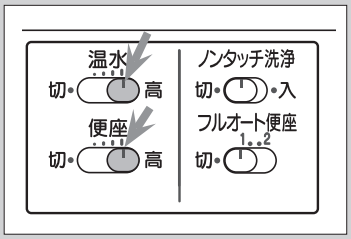
⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
- ゴミが O リングに付着した状態で取り付けないでください。
  ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。

指示実行

流動式便器を使用している場合の凍結防止方法

1. 温水スイッチを「高」、便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。



節電を行っている場合は、節電を解除します。

2. 室内を暖房します。

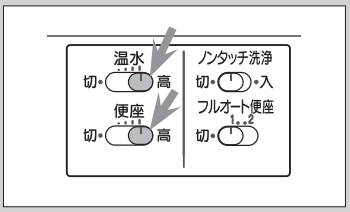
3. 流動ボタンを回して押し込みます。
流動ボタンを回して押し込み、ロータンク内の水が絶えず便器内に流れるようにします。

参考

流動ボタンを押し込むと 1 時間に約 50L の水量が出ます。このとき約 -10℃まで凍結を防止します。

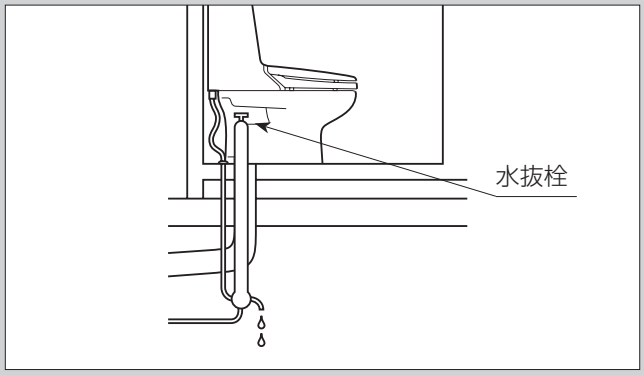
水抜栓による凍結防止方法

1. 温水スイッチを「高」、便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。
節電を行っている場合は、節電を解除します。

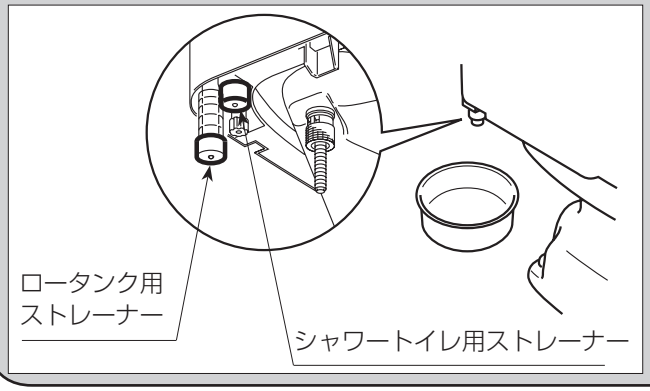


2. 室内を暖房します。

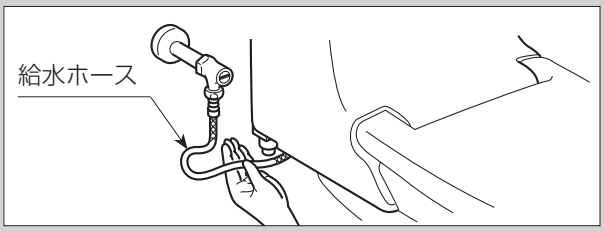
3. 水抜栓を操作して、配管内の水を抜きます。



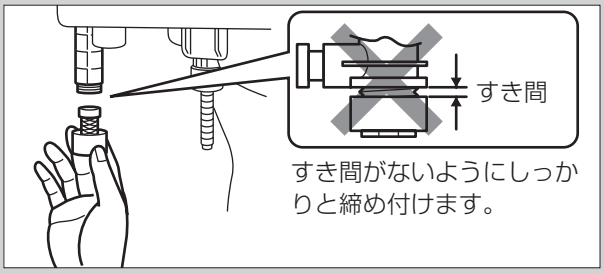
4. ストレーナー（2 ヵ所）を外します。



5. 給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。



6. 水抜き後、ストレーナーをしっかりと締め付けます。

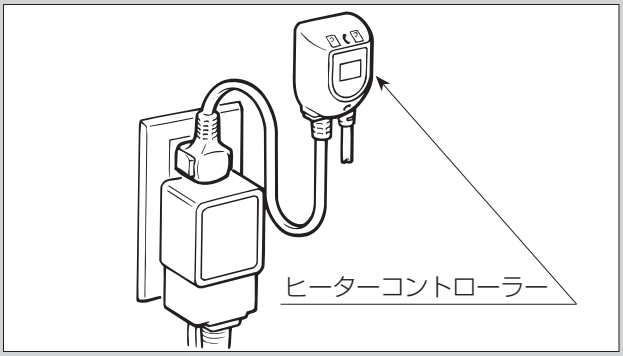


7. 洗浄ハンドルを「大」の方へ操作して、ロータンク内の水を抜きます。

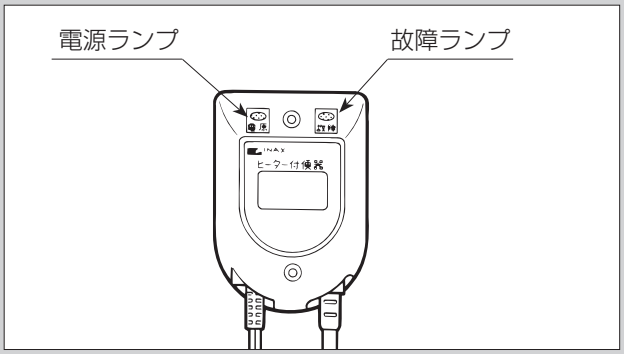
8. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞ 9、10 ページ）

ヒーター付便器の凍結防止方法

1. ヒーターコントローラーの電源プラグをコンセントに差し込みます。



2. 電源ランプが点灯、故障ランプが消灯していることを確認してください。



■ もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意

給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
※ 給水ホースが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
- ゴミが O リングに付着した状態で取り付けないでください。
  ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。

修理を依頼される前に

《故障かなと思ったら》

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

現　象	原　因	処　置
すべての機能が動作しない（電源ランプが点灯しない）	電源コンセントに電気がきていますか。	停電、ブレーカーなどを確認します。
	電源スイッチが「切」（電源ランプ消灯）になっていませんか。	電源スイッチを押して、本体の表示部の電源ランプを点灯させます。（☞ 9 ページ）
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。（☞ 9 ページ）
	漏電していませんか。（表示ランプが点灯している。）	電源プラグのリセットボタンを押します。それでもランプが点灯するようであれば漏電していますので、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。
リモコンのスイッチを押しても動作しない（電源ランプは点灯している）	リモコンの電池が消耗していませんか。（電池ランプ点滅）	新しい電池に交換します。（☞ 34 ページ）
	リモコン内の⊕⊖の方向が間違っていませんか。	正しい方向に入れます。（☞ 34 ページ）
	リモコンの送信部、または受光部が汚れているか、水が付いていませんか。	汚れや水を取り除きます。
	インバーター照明を使用していませんか。	照明を消して動作を確認してください。
シャワーが出ない	止水栓が閉じていませんか。	止水栓を反時計回りに回します。（☞ 9 ページ）
	シャワー用ストレーナーが目詰まりしていませんか。	シャワー用ストレーナーの掃除をします。（☞ 33 ページ）
	水道圧が低くないですか。洗浄強さが最弱付近になっていませんか。	洗浄強さを「強」側にします。（☞ 12 ページ）
	着座センサーが入っていますか。	便座に座ってください。（☞ 23 ページ）
	温水タンクが満水になっていますか。	試運転を行います。（☞ 9 ページ）
温風が出ない	着座センサーが入っていますか。	便座に座ってください。（☞ 23 ページ）
温風が暖かくない	乾燥温度が適当な温度に調節されていますか。	乾燥スイッチを押し、適当な温度に調節します。（☞ 14 ページ）
		使用条件により温度の感じ方に差が出る場合があります。温風温度は国際電気標準会議 (IEC) 基準に準拠しています。(IEC:International Electrotechnical Commission)
温風が途中で止まる	4 分以上使っていませんか。	再度、乾燥スイッチを押します。（☞ 14 ページ）
便座が暖かくない	便座スイッチが適当な温度に調節されていますか。	便座スイッチを押し、適当な温度に調節します。（☞ 11 ページ）
	節電中ではありませんか	節電を解除します。（☞ 19 ページ）
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオート OFF 機能が働いていませんか。	便座ヒーターオート OFF 機能を解除します。（☞ 21 ページ）
自動で便器洗浄しない	ノンタッチ洗浄スイッチが「切」になっていませんか。	ノンタッチ洗浄スイッチを「入」にします。（☞ 17 ページ）
脱臭ファンが回りっぱなしになる	便座が水で濡れていたり、汚れていませんか。	便座を掃除します。
脱臭ファンが回らない	脱臭が「切」にセットされていませんか。	脱臭を「入」にセットします。（☞ 15 ページ）
脱臭効果が弱くなった。（ニオイが気になる）	脱臭カートリッジにホコリなどが付着していませんか。	脱臭カートリッジを掃除してください。（☞ 30 ページ）
	脱臭カートリッジが寿命ではありませんか。	脱臭カートリッジを交換してください。（☞ 30 ページ）

上記処置で故障が直らない場合は、お求めの取扱店または INAX メンテナンスへご相談ください。

現　象	原　因	処　置
便座・便フタがバタンと落ちる	電動開閉中に便フタを押さえませんでしたか。	再度便座電動開閉スイッチを押し、電動開閉しない場合は、**コンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**
	市販の便フタカバー、便座カバーが重い、または引っかかっていませんか。	便フタカバー、便座カバーを外して使用してください。
便フタが自動開閉しない または便座が電動開閉しない	フルオート便座スイッチが「切」になっていませんか。	フルオート便座スイッチを「1」または「2」にします。 (☞ 20 ページ)
	市販の便フタカバー、便座カバーが重い、または引っかかっていませんか	便フタカバー、便座カバーを外して使用してください。
近づいても便フタが開かない	人体検知センサー（上）が汚れていませんか。	センサー部を柔らかい布で水ぶきしてください。 (☞ 24 ページ)
便フタが開きっぱなしになっている。または、人がいなくても開閉を繰り返している	人体検知センサー（上）が汚れていませんか。	センサー部を柔らかい布で水ぶきしてください。 (☞ 24 ページ)
便座・便フタが開きっぱなしになっている。	人体検知センサー（下）が汚れていませんか。	センサー部を柔らかい布で水ぶきしてください。 (☞ 24 ページ)
ロータンクまたは便器下部に水滴が付いている。	湿度が高く結露した。	こまめにふき取ってください。また、換気を十分にしてください。
便座裏に水滴が付着する	シャワーの飛び散りにより便座裏に水滴が付着した。	こまめにふき取ってください。また、腰掛けてご使用いただければシャワーの飛び散りが少なくなります。
ロータンクへの給水時間が長い	止水栓が十分開いていますか。	止水栓を十分開いてください。(☞ 9 ページ)
	ストレーナーが汚れていませんか。	ストレーナーを掃除してください。(☞ 33 ページ)
本体から“ググッ”と音がする ●電源プラグをコンセントに差し込んだとき ●電源スイッチを入れたとき ●おしり・ビデ洗浄を止めたとき	故障ではありません。 シャワートイレが正常に作動するためにモーターが動いている音です。洗浄強さの調節や洗浄位置の調節に、異常がなければ問題ありません。	
電源ランプが点滅している	温水・便座のいずれかの機能に不具合が生じている。 または点検時期が来ている。	**電源スイッチを「切」にしても点滅している場合は、故障していますのでコンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。** **電源スイッチを「切」にして消灯する場合は、点検時期ですのでお早めに点検をお受けください。**
便座裏側にある後ろ足（奥の出っぱり）が便器に着いていない（浮いている）		故障ではありません。 後ろ足（奥側の出っぱり）は浮く設計になっていますので、そのままご使用ください。
便フタ・便座を開くと本体がガタつく	故障ではありません。 リフトアップ付の場合はリフトアップの動作のためにスキマを持たせた設計になっていますので、便フタ・便座を開くと本体が動きます。そのままご使用ください。	
お買い上げ時の設定に戻したいとき	＜より快適な機能＞で変更した機能を、すべてお買い上げ時の設定に戻します。	**「洗浄位置前」と「洗浄位置後」スイッチを同じタイミングで６秒以上押し続けてください。(☞22ページ)**

上記処置で故障が直らない場合は、お求めの取扱店または INAX メンテナンスへご相談ください。

安全・安心にお使いいただくために

温水洗浄便座は電気製品のため、長期間ご使用いただくうちに経年劣化により事故に至る恐れがあります。また、故障したままご使用を続けると製品事故に至る可能性がありますので、故障の場合はすぐにご使用を中止し、販売店、工事店または INAX メンテナンスまでご連絡ください。

1. 所有者登録のお願い

シャワートイレを安全かつ安心してお使いいただくために、製品安全や保守に関わる情報をご提供できるよう、所有者登録をお願いしております。所有者登録のお手続きは、Web でのご登録、または専用ハガキに必要事項をご記入の上、当社までご返送ください。

詳しくはご購入時にお渡しの「保証書・所有者登録のお願い」をご覧ください。

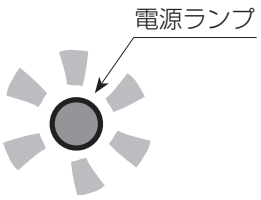
※ 非住宅でご使用のお客さまは Web のみのご登録となります。

※ ご登録などをされるときには、便フタ裏または製品本体に張ってあるシールが必要となります。決してはがさないようにしてください。

2. 点検時期お知らせ表示（タイムスタンプ）について

製品のご使用を開始して約 10 年が経過すると、電源ランプが
連続して 1 秒間に約 5 回の点滅を繰り返します。

この表示は、お客さまにご安心してご使用いただくための機能であり、機器の故障ではなく、長年のご使用で製品が安全に使用されているか、また劣化や故障が無いかを確認する点検時期がきたことをお知らせするものです。



当社では安全点検（有料）をご用意しております。

この機会に、内部的な確認を含んだ点検をおすすめいたします。

※お客さまの安心・安全を目的とした表示のため、お客さまによる操作ではこの表示を消灯することはできません。INAX メンテナンスによる安全点検（有料）をお受けいただくことで消灯することができます。

※ 詳しくは、お客さま相談センターへお問い合わせください。（TEL 0120-1794-00）

3. セルフチェック項目

シャワートイレの日常的な安全点検は、ご自身でも行うことができます。
下記のチェック項目をもとに、定期的な点検をお願いいたします。
点検をしていただいても故障が直らない場合や調子が悪い場合は、INAX メンテナンスにご相談ください。

温水洗浄便座セルフチェック表

製品を末長くお使いいただくために、下のチェック項目により、定期的な点検をお願い致します。

セルフチェックを行う前に、シャワーや温風などの各機能が正常に作動するか確認してください。

1つでも該当する場合

**次のような症状は、火災や感電、室内浸水の原因になります。
電源プラグを抜き止水栓を閉めて、直ちに販売店か工事店または INAX メンテナンス 修理受付センターまでご連絡ください。(電源プラグがない機種は、本体の点検口フタ内の電源スイッチでシャワートイレ本体の電源を切ってください。)**

	点検目安※	実施日					
便座・便座コード 便座や本体、便座コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❶ 本体や便座にひびや割れがありませんか? ゴム足は外れていませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❷ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❸ 便座の開閉はスムーズですか?便座のガタツキはありませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
水漏れ 本体や止水栓まわりから水漏れしている状態で使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。							
❹ 水漏れがありませんか? 同時に、ロータンクの中の金具や浮き玉の動き、洗浄ハンドルの戻りなど、不具合がないことを確認してください。	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
電源コード・電源プラグ 温水洗浄便座の電源コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❺ 電源コードが熱くなっていませんか?傷んだり、挟み込んだりしていませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❻ シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障(異臭・異音)していませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❼ 電源プラグにほこりがたまっていませんか? はい □→ ほこりを取り除いてください。	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /

※点検目安は弊社お勧めの期間です。

セルフチェックを行う前に、本ページの温水洗浄便座セルフチェック表の部分をコピーしてお使いください。

4. 点検の修理、お申し込みは

INAXメンテナンス　修理受付センター

TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56

受付時間9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

5. 製品の長期使用に関する本体表示について

(本体への表示内容)

●経年劣化により事故に至る恐れがあることをお知らせするために、本体に以下の内容の表示をしております。

■製造年（本体に西暦４桁で表示してあります。）

警告	**【想定安全使用期間】10 年** 想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至る恐れがあります。

(想定安全使用期間とは)

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。

この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

■標準使用条件

環境条件	**電圧・周波数**	AC100V・50/60Hz	機器の定格電圧・周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 による
	給水温度・給水圧	15℃・0.2MPa	JIS A4422 による
負荷条件	**定格負荷**	製品仕様による標準設置状態	JIS A4422 による
想定時間	４人家族（男性２人、女性２人）において、大便：１回 / 日・人、小便男性：４回 / 日・人、小便女性：４回 / 日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ 15 秒間とする。		JIS A4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

参考

経年劣化について

「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かなと思ったら」（40 ページ）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、**お求めの取扱店または INAX メンテナンス**にご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●コードの傷みやコンセントのガタつき
- ●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

⚠ 警告

- ●シャワートイレ本体･電源プラグ･コードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼し、故障したまま使用しないでください。
  ※ 感電・火災・漏水の原因になります。
- ●シャワートイレ本体および給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。
  ※ 感電・火災・室内浸水の原因となります。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から 2 年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■保証期間中の修理

修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

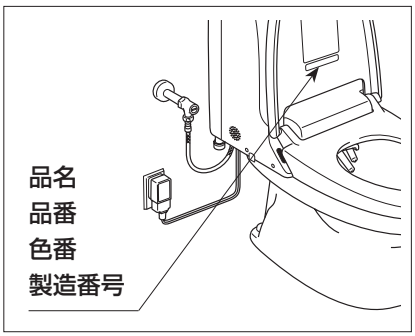
■保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料＋出張料＋部品代です。

■連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品名・品番・色番・製造番号
   （便フタ裏または製品本体に張ってあるシールをご覧ください。）
3. お取付日（保証書をご覧ください。）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日

※ ご登録などをされるときには、便フタ裏または製品本体に張ってあるシールが必要となります。決してはがさないようにしてください。



4. 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後、便器部が１０年、それ以外（シャワートイレ機能部）は６年です。
点検・修理の申し込みの際にお問い合わせください。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。
※ 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより３年たったもの
- 温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
- 長期間のご使用により電源ランプが点滅したら（電源スイッチを「切」にしたら消える場合）

定期点検については、INAX メンテナンスまでご相談ください。
点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

6. 商品についての使い方・お手入れ方法などのお問合せは

お客さま相談センター

TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　9:00～18:00
土・日・祝日　9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※ フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

7. 商品についての修理のご依頼は

INAXメンテナンス　修理受付センター

TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56

受付時間9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

■延長保証について

通常、保証期間は２年間ですが、「所有者登録」されますと無料でさらに延長されます。
Web からご登録いただくか、同梱の「所有者登録ハガキ」に必要事項を記入し、アンケートにお答えいただいて郵送してください。
※ 詳しくはご購入時にお渡しの「保証書・所有者登録のお願い」をご覧ください。
※ 非住宅でのご使用は、Web でご登録いただいた場合のみ１年間延長され、計３年間保証になります。

仕様

タイプ		DWT-MM85 タイプ DWT-MM55 タイプ
最大定格		AC100V・590W　50/60Hz
対応便器		BC-120S(P)、BC-120SU(PU)、 BC-220S(P)(PU)、BC-130SU、 BC-140S、BC-240S、BC-600S、 BC-160S、BC-170S、BC-260S(P)、 BC-270S(P)
洗浄水量		対応便器による
商品寸法		幅 415mm ×奥行 770mm ×高さ 914mm（手洗無）、997mm（手洗付）
対応便器と商品質量		機能部：約 15kg
洗浄	温水タンク・容量	貯湯式・2.45L
	ノズル	おしり・ビデ専用オートスライド式
	ノズル穴	おしり用：パワフルφ 1.3 × 3、マイルドφ 1.3 × 3 ＋φ 1.0 × 11 ビデ用　：φ 1.0 × 12
	おしり吐水量	パワフル：0 ～ 1.8L/ 分、マイルド：0 ～ 2.0L/ 分
	ビデ吐水量	0 ～ 2.0L/ 分
	給水方式	水道直結式
	使用水圧	0.06 ～ 0.75MPa
	温水ヒーター容量	500W
	温水タンク内制御温度（保温機能付）	切（水温）・低（約 36℃）・中（約 38℃）・高（約 40℃）
	安全装置	温度ヒューズ・空だき防止フロートスイッチ・高温感知スイッチ
	快適洗浄機能	洗浄位置調節、ワイド洗浄
温風乾燥	風量	0.4m^3/ 分
	温風ヒーター容量	0・170・340W
	温風温度調節	低（室温）・中・高
	安全装置	温度ヒューズ（2 個）
便座・便フタ	ヒーター容量	48W
	表面温度	切（室温）・低（約 28℃）・中（約 36℃）・高（約 40℃）
	温度調節	無段階切替（マイコン制御）
	安全装置	温度ヒューズ
	快適機能	フルオート便座（便フタ・便座電動開閉）、 便座・便フタスローダウン
脱臭	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式
	脱臭能力	フルパワー脱臭時：0.14m^3/ 分、パワー脱臭時：0.11m^3/ 分
	脱臭カートリッジ寿命	約 7 年
節電機能		スーパー節電（24 時間節電）・ワンタッチ節電（6 時間後自動復帰）
自動便器洗浄機能		ノンタッチ大小便器洗浄、ノンタッチ男子小便器洗浄
着座センサー		静電容量式
省エネ区分		貯湯式
年間消費電力量		277（363）kWh/ 年※
電源コード		有効長さ 1.2m（漏電保護プラグ、アースコード付）
清掃性		スーパーノズルクリーニング、便フタワンタッチ着脱機構、おそうじリフトアップ、プラスガード（手洗付の場合）
使用温度範囲		0 ～ 40℃

※ 省エネ法（2012 年度基準）に基づいた測定値。（ ）内は、タイマー節電機能を使用しない場合の年間消費電力量。

注意　この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

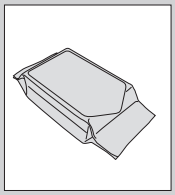
別売品のご案内

当社では、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

別売品について

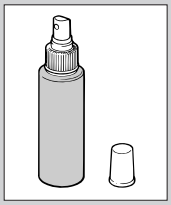
■トイレ用おそうじティッシュ（品番：CWA-36-4SET）

樹脂を傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。使用後、便器にそのまま流せます。（☞ 27 ページ）



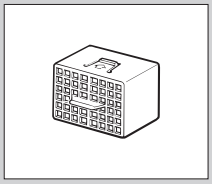
■シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

樹脂を傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。
脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。（☞ 27 ページ）



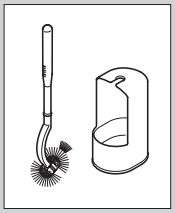
■取替え用脱臭カートリッジ（品番：CWA-23）

脱臭カートリッジの寿命は、約7年です。ニオイが気になりだしたら交換してください。
（☞ 30 ページ）



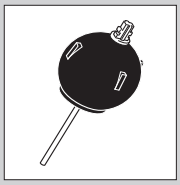
■お掃除ブラシ（品番:CWA-48、CWA-48-A）

便器のプロガード表面をキズ付けないブラシです。便鉢の裏側まできれいに洗い落とせます。（☞ 28 ページ）
※ CWA-48-A はケースが付きません。



■取替用フロートゴム玉（品番：TF-10R-L）

フロート弁のゴム玉が劣化や破損している場合の補修用部品です。



別売品の購入方法

● 直接、購入される場合

弊社商品の取扱店でお求めください。

● 宅配サービスをご利用される場合

LIXIL（リクシル）オンラインへご連絡ください。
宅配サービスにてお届けいたします。（宅配サービスでは送料が別途必要となります。）

[電話注文]

電話番号　0120-1946-02
受付時間　9：00 ～ 17：00（土・日・祝日・夏期・年末年始の休みは除く）

[インターネット利用]

下記ホームページアドレスにアクセスして、商品をお求めください。
http://www.care-goods.lixil-online.com（24 時間受付）
（インターネットではお取扱いしていない商品もございます。あらかじめご了承ください。）

重大事故防止のためのお願い

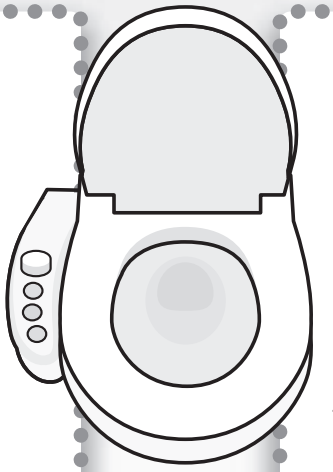
温水洗浄便座は電気製品です

～多くのお客さまが電気製品としての取り扱い、寿命を意識されていません～

故障したままのご使用や長年のご使用は、電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります

故障したままで使わないでください。

火災や感電、室内浸水の原因になります。
異常に気づいたら、**すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止**し、販売店またはメーカーへご連絡ください。



定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、**定期的な点検**をおすすめします。
また、**長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替え**をご検討ください。使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店またはメーカーにご連絡ください。

安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

便座や本体に小水や洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。

酸性やアルカリ性の洗剤を使わないでください。内部の電気部品や金属を腐食させます。

電源プラグのほこりは取り除いてください。トラッキング※現象で火災の原因になります。

※トラッキングとは･･･電源プラグにたまったほこりと湿気により微小電流が流れ、火花が発生する。火花によりほこりが燃えて炭化するとトラック（電気の道）ができる。トラックのできた電源プラグを使用し続けると、やがて大量の電流が流れるようになりショートし、発火する。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックリスト　**症状がひとつでも該当する場合は、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、直ちにご連絡ください。**

便座・便座コード　便座や本体、便座コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- □ 本体や便座にひびや割れがありませんか？ ゴム足は外れていませんか？
- □ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか？
- □ 便座の開閉はスムーズですか？ ガタツキはありませんか？
- □ 便座コードが熱くなっていませんか？ 傷んだり、挟みこんだりしていませんか？ 焦げ臭いにおいがしませんか？

電源コード・電源プラグ　電源コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- □ 電源コードが熱くなっていませんか？ 傷んだり、挟みこんだりしていませんか？
- □ 電源プラグの差込部が発熱・変色していませんか？

水漏れ　水漏れしている状態で、使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。

- □ 本体や止水栓まわりから水漏れはありませんか？

一般社団法人 **温水洗浄便座工業会**　後援 経済産業省
〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18　http://www.sanitary-net.com

商品のお問い合わせは
お客さま相談センターへ

TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　9:00～18:00
土・日・祝日　9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

修理のご依頼は
INAXメンテナンス修理受付センターへ

TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56

受付時間　9:00～20:00（365日受付）

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。
個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

年　月　日	損傷と処置	サービス担当者

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

GCW-1171J(12120)